

# Dell OptiPlex 7440 All-In-One オーナーズマニュアル

規制モデル: W11C  
規制タイプ: W11C001



# メモ、注意、警告

-  **メモ:** メモでは、コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。
-  **注意:** 注意では、ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。
-  **警告:** 警告では、物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

**著作権 © 2015 Dell Inc. 無断転載を禁じます。** この製品は、米国および国際著作権法、ならびに米国および国際知的財産法で保護されています。Dell™、およびデルのロゴは、米国および/またはその他管轄区域における Dell Inc. の商標です。本書で使用されているその他すべての商標および名称は、各社の商標である場合があります。

2015 - 10

Rev. A00

# 目次

<b>1 コンピュータ内部の作業</b> .....	<b>6</b>
コンピュータ内部の作業を始める前に.....	6
推奨ツール.....	7
コンピュータの電源を切る.....	7
コンピュータ内部の作業を終えた後に.....	8
重要情報.....	8
<b>2 コンポーネントの取り外しと取り付け</b> .....	<b>9</b>
スタンドの取り外し.....	9
スタンドの取り付け.....	10
ケーブルカバーの取り外し.....	10
ケーブルカバーの取り付け.....	11
背面カバーの取り外し.....	11
背面カバーの取り付け.....	12
スピーカーカバーの取り外し.....	12
スピーカーカバーの取り付け.....	13
ハードドライブアセンブリの取り外し.....	14
ハードドライブアセンブリの取り付け.....	15
オプティカルドライブアセンブリの取り外し.....	15
オプティカルドライブアセンブリの取り付け.....	16
システム基板シールドの取り外し.....	16
システム基板シールドの取り付け.....	17
ヒートシンクの取り外し.....	17
ヒートシンクの取り付け.....	18
WLAN カードの取り外し.....	18
WLAN カードの取り付け.....	19
スピーカーモジュールの取り外し.....	19
スピーカーの取り付け.....	20
コンバータボードの取り外し.....	20
コンバータボードの取り付け.....	21
電源装置ユニット (PSU) の取り外し.....	22
電源装置ユニット (PSU) の取り付け.....	23
VESA マウントブラケットの取り外し.....	24
VESA マウントブラケットの取り付け.....	24
プロセッサファンの取り外し.....	25
プロセッサファンの取り付け.....	25
メモリモジュールの取り外し.....	26

メモリモジュールの取り付け.....	26
イントルージョンスイッチの取り外し.....	26
イントルージョンスイッチの取り付け.....	27
電源およびオンスクリーンディスプレイ (OSD) ボタンボードの取り外し.....	28
電源および OSD ボタンボードの取り付け.....	28
コイン型電池の取り外し.....	28
コイン型電池の取り付け.....	29
プロセッサの取り外し.....	29
プロセッサの取り付け.....	30
システム基板の取り外し.....	30
システム基板のレイアウト.....	33
システム基板の取り付け.....	34
ディスプレイアセンブリの取り外し.....	35
ディスプレイアセンブリの取り付け.....	36
<b>3 セットアップユーティリティ.....</b>	<b>38</b>
Boot Sequence.....	38
ナビゲーションキー.....	38
セットアップユーティリティオプション.....	39
一般的な画面オプション.....	39
システム設定画面のオプション.....	41
セキュリティ画面オプション.....	43
安全起動画面のオプション.....	45
パフォーマンス画面のオプション.....	46
電力管理画面のオプション.....	47
POST 動作画面のオプション.....	48
仮想化サポート画面のオプション.....	48
ワイヤレス画面オプション.....	49
メンテナンス画面のオプション.....	49
クラウドデスクトップ画面のオプション.....	50
BIOS のアップデート.....	52
システムパスワードおよびセットアップパスワード.....	52
システムパスワードおよびセットアップパスワードの割り当て.....	53
既存のシステムパスワードおよび / またはセットアップパスワードの削除または変更.....	54
<b>4 技術仕様.....</b>	<b>55</b>
システム仕様.....	55
メモリの仕様.....	55
ビデオの仕様.....	56
オーディオの仕様.....	56
通信の仕様.....	56
カードの仕様.....	57


ディスプレイの仕様.....	57
ドライブの仕様.....	57
ポートおよびコネクタの仕様.....	57
電源仕様.....	58
カメラ（オプション）の仕様.....	58
スタンドの仕様.....	58
物理的仕様.....	59
環境仕様.....	59
<b>5 デルへのお問い合わせ.....</b>	<b>60</b>


# コンピュータ内部の作業


## コンピュータ内部の作業を始める前に


コンピュータの損傷を防ぎ、ユーザー個人の安全を守るため、以下の安全に関するガイドラインに従ってください。特記がない限り、本書に記載される各手順は、以下の条件を満たしていることを前提とします。


- コンピュータに付属の「安全に関する情報」を読んでいること。
- コンポーネントは交換可能であり、別売りの場合は取り外しの手順を逆順に実行すれば、取り付け可能であること。


 **警告:** すべての電源を外してから、コンピュータカバーまたはパネルを開きます。コンピュータ内部の作業が終わったら、カバー、パネル、ネジをすべて取り付けてから、電源に接続します。


 **警告:** コンピュータ内部の作業を始める前に、コンピュータに付属の「安全に関する情報」をお読みください。安全に関するベストプラクティスについては、規制コンプライアンスのホームページ ([www.Dell.com/regulatory\\_compliance](http://www.Dell.com/regulatory_compliance)) を参照してください。

 **注意:** 修理作業の多くは、認定されたサービス技術者のみが行うことができます。製品マニュアルで許可されている範囲に限り、またはオンラインサービスもしくは電話サービスとサポートチームの指示によってのみ、トラブルシューティングと簡単な修理を行うようにしてください。デルで認められていない修理（内部作業）による損傷は、保証の対象となりません。製品に付属しているマニュアルの「安全にお使いいただくために」をお読みになり、指示に従ってください。

 **注意:** 静電気による損傷を避けるため、静電気防止リストバンドを使用するか、またはコンピュータの裏面にあるコネクタなどの塗装されていない金属面に定期的に触れて、静電気を身体から除去してください。


 **注意:** コンポーネントとカードは丁寧に取り扱いってください。コンポーネント、またはカードの接触面に触らないでください。カードは端、または金属のマウンティングブラケットを持ってください。プロセッサなどのコンポーネントはピンではなく、端を持ってください。

 **注意:** ケーブルを外す場合は、ケーブルのコネクタかプルタブを持って引き、ケーブル自体を引っ張らないでください。コネクタにロックタブが付いているケーブルもあります。この場合、ケーブルを外す前にロックタブを押さえてください。コネクタを引き抜く場合、コネクタピンが曲がらないように、均一に力をかけてください。また、ケーブルを接続する前に、両方のコネクタが同じ方向を向き、きちんと並んでいることを確認してください。

 **メモ:** お使いのコンピュータの色および一部のコンポーネントは、本書で示されているものと異なる場合があります。

コンピュータの損傷を防ぐため、コンピュータ内部の作業を始める前に、次の手順を実行してください。

1. コンピュータのカバーに傷がつかないように、作業台が平らであり、汚れていないことを確認します。
2. コンピュータの電源を切ります（「コンピュータの電源を切る」を参照）。

 **注意:** ネットワークケーブルを外すには、まずケーブルのプラグをコンピュータから外し、次にケーブルをネットワークデバイスから外します。

3. コンピュータからすべてのネットワークケーブルを外します。
4. コンピュータおよび取り付けられているすべてのデバイスをコンセントから外します。

5. システムのコンセントが外されている状態で、電源ボタンをしばらく押して、システム基板の静電気を除去します。
6. カバーを取り外します。

△ 注意: コンピュータの内部に触れる前に、コンピュータの裏面など塗装されていない金属面に触れ、静電気を除去します。作業中は定期的に塗装されていない金属面に触れ、内部コンポーネントを損傷する恐れのある静電気を放出してください。

## 推奨ツール

本マニュアルの手順には以下のツールが必要です。



- 小型のマイナスイドライバー
- プラスドライバー
- 小型のプラスチックスクライブ

## コンピュータの電源を切る


△ 注意: データの損失を防ぐため、コンピュータの電源を切る前に、開いているファイルはすべて保存して閉じ、実行中のプログラムはすべて終了してください。

1. コンピュータの電源を切る :


- Windows 10 の場合 (タッチ対応デバイスまたはマウスを使用) :

1. スタートアイコンを 。
2. 電源アイコンを  次に **Shut down (シャットダウン)** をクリックまたはタッチします。

- Windows 8 の場合 (タッチ対応デバイスを使用) :

1. 画面の右端からスワイプインして、**チャームメニュー**を開き、**Settings (設定)** を選択します。
2. 電源アイコンを  次に **Shut down (シャットダウン)** をタップします。

- Windows 8 の場合 (マウスを使用) :

1. 画面の右上隅をポイントし、**Settings (設定)** をクリックします。
2. 電源アイコンを  次に **Shut down (シャットダウン)** を選択します。

- Windows 7 の場合 :

1. **Start (開始)** をクリックします。
2. **Shut Down (シャットダウン)** をクリックします。

または


1. **Start (開始)** をクリックします。
2. **スタートメニュー**の右下隅の矢印をクリックして、**Log off (ログオフ)** をクリックします。

2. コンピュータと取り付けられているデバイスすべての電源が切れていることを確認します。オペレーティングシステムをシャットダウンしてもコンピュータとデバイスの電源が自動的に切れない場合、電源ボタンを 6 秒間押し続けたままにして電源を切ります。

## コンピュータ内部の作業を終えた後に



取り付け手順が完了したら、コンピュータの電源を入れる前に、外付けデバイス、カード、ケーブルが接続されていることを確認してください。

1. カバーを取り付けます。

 **注意:** ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルをネットワークデバイスに差し込み、次にコンピュータに差し込みます。

2. 電話線、またはネットワークケーブルをコンピュータに接続します。
3. コンピュータ、および取り付けられているすべてのデバイスをコンセントに接続します。
4. コンピュータの電源を入れます。
5. 必要に応じて **Dell 診断プログラム** を実行して、コンピュータが正しく動作することを確認します。

## 重要情報

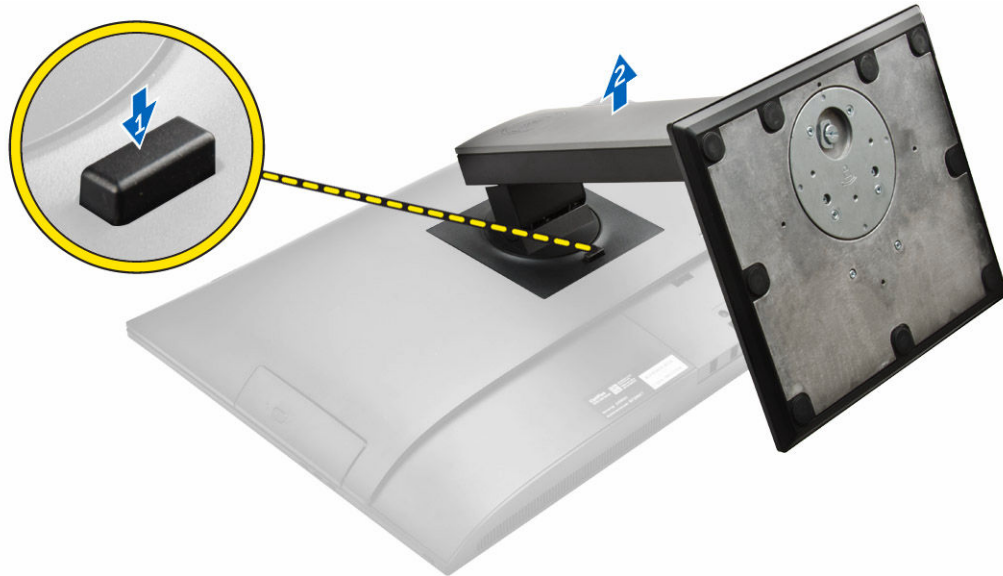
-  **メモ:** ほこりの多い、高温、または湿気の多い所でタッチスクリーンを使用しないでください。
-  **メモ:** 急激な温度変化によりガラス画面の内面が結露することがありますが、すぐに消えるため通常の使用に影響はありません。

## コンポーネントの取り外しと取り付け

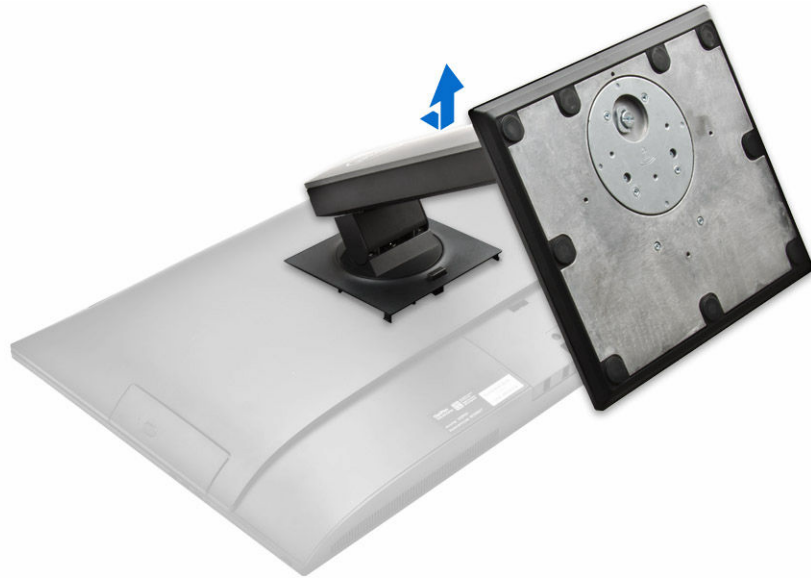
このセクションには、お使いのコンピュータからコンポーネントを取り外し、取り付ける手順についての詳細な情報が記載されています。

### スタンドの取り外し

1. [「コンピュータ内部の作業を始める前に」](#)の手順に従います。
2. コンピュータをディスプレイの面を下に向けて平坦な面に置きます。
3. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
  - a. カバーのタブを押し、スタンドを外します [1]。
  - b. スタンドを持ち上げます [2]。



4. スタンドをスライドさせて持ち上げ、背面カバーから取り外します。

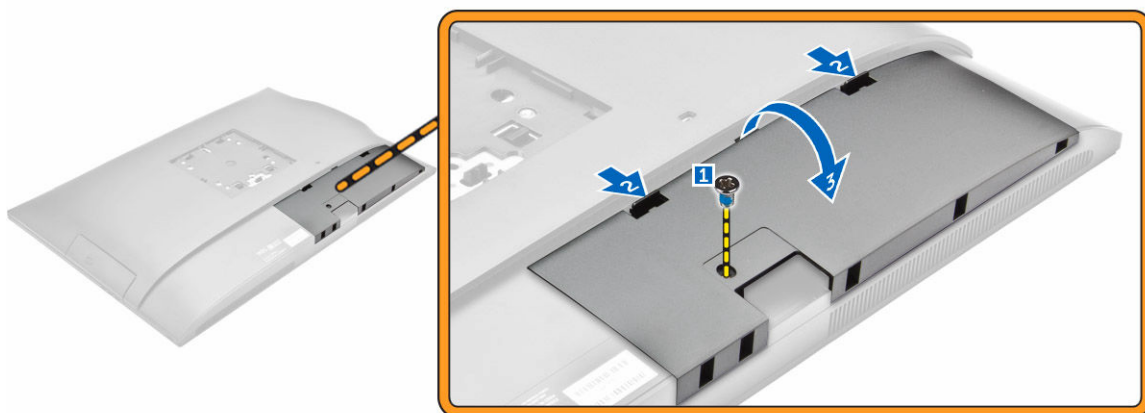


## スタンドの取り付け

1. スタンドを揃えて、コンピュータの背面をスライドさせます。
2. スタンドに取り付けられているカバーを、カチッと収まるまで押します。
3. 「[コンピュータ内部の作業を終えた後に](#)」の手順に従います。

## ケーブルカバーの取り外し

1. 「[コンピュータ内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. [スタンド](#)を取り外します。
3. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
  - a. ケーブルカバーを固定しているネジを外します [1]。
  - b. リリースタブを押してケーブルカバーを外し、背面カバーを持ち上げてコンピュータから取り外します [2]。
  - c. ケーブルカバーを持ち上げてコンピュータから取り外します [3]。



## ケーブルカバーの取り付け

1. ケーブルカバーの切込みをコンピュータの穴に揃えて、カチッと収まるまで押し下げます。
2. ネジを締めてケーブルカバーをコンピュータに固定します。
3. [スタンド](#)を取り付けます。
4. 「[コンピュータ内部の作業を終えた後に](#)」の手順に従います。

## 背面カバーの取り外し

1. 「[コンピュータ内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
  - a. [スタンド](#)
  - b. [ケーブルカバー](#)
3. 背面カバーの両端をてこの作用で持ち上げて、コンピュータから外します。



4. 背面カバーを持ち上げて、コンピュータから取り外します。

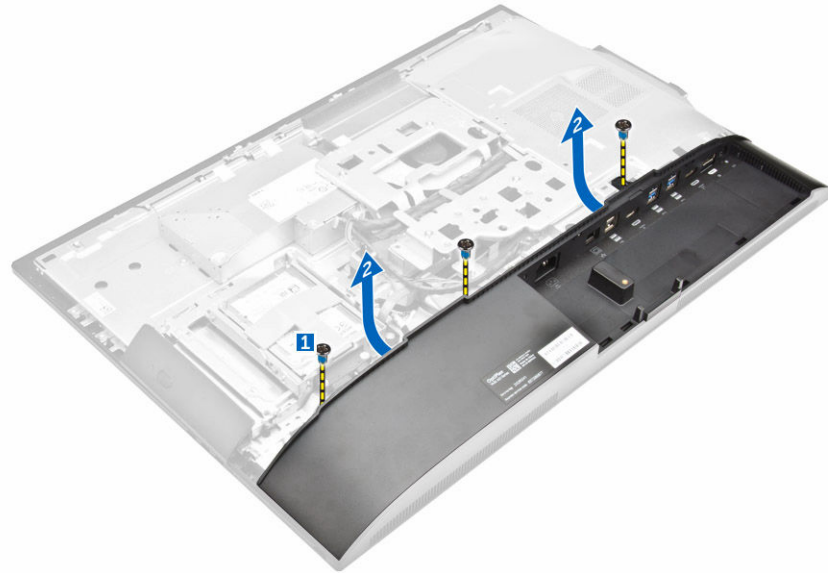


## 背面カバーの取り付け

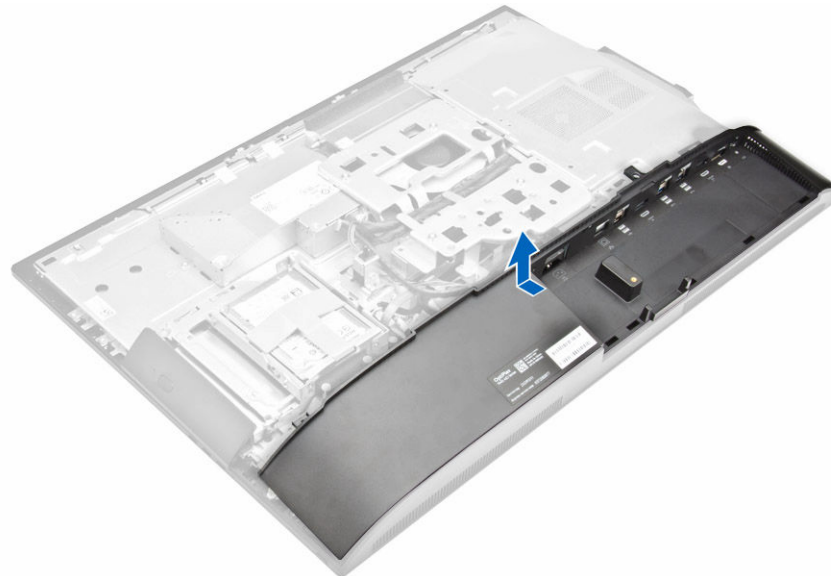
1. 背面カバーの切込みをコンピュータの穴に揃えて、カチッと収まるまで押し込みます。
2. 次のコンポーネントを取り付けます。
  - a. [ケーブルカバー](#)
  - b. [スタンド](#)
3. 「[コンピュータ内部の作業を終えた後に](#)」の手順に従います。

## スピーカーカバーの取り外し

1. 「[コンピュータ内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
  - a. [スタンド](#)
  - b. [ケーブルカバー](#)
  - c. [背面カバー](#)
3. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
  - a. スピーカーカバーをコンピュータに固定しているネジを外します [1]。
  - b. スピーカーカバーをスライドさせて、コンピュータから外します [2]。



4. スピーカーカバーをスライドさせて、コンピュータから取り外します。

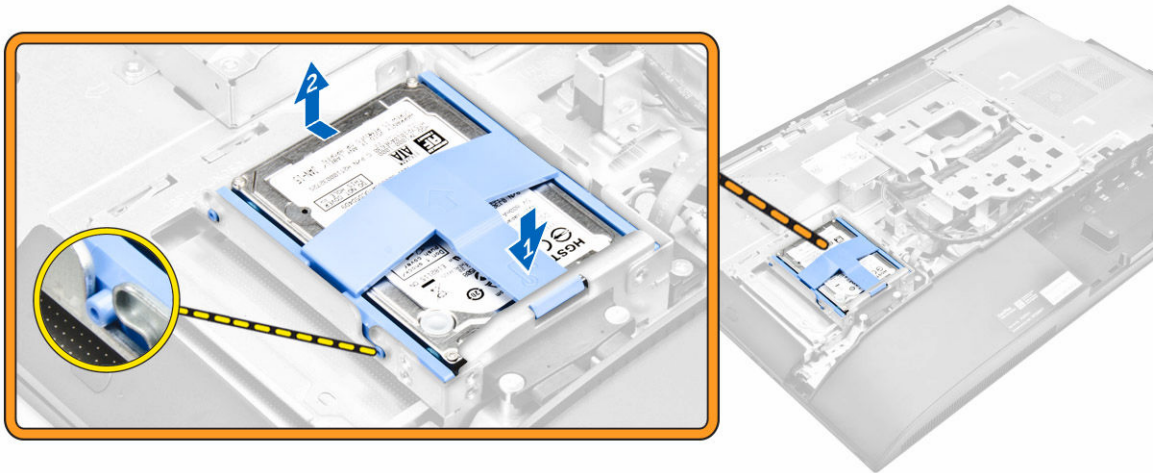


## スピーカーカバーの取り付け

1. スピーカーカバーをコンピュータの背面の所定の位置に合わせます。
2. ネジを締めてスピーカーカバーをコンピュータに固定します。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
  - a. [背面カバー](#)
  - b. [ケーブルカバー](#)
  - c. [スタンド](#)
4. 「[コンピュータ内部の作業を終えた後に](#)」の手順に従います。

## ハードドライブアセンブリの取り外し

1. [「コンピュータ内部の作業を始める前に」](#)の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
  - a. [スタンド](#)
  - b. [背面カバー](#)
3. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
  - a. ブラケットのタブを押し、タブがアセンブリの両端から外れるまでハードドライブアセンブリをスライドさせます [1]。
  - b. ハードドライブアセンブリを上にもスライドさせて、コンピュータから取り外します [2]。



4. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
  - a. ブラケットの端をこの作用で持ち上げて、ハードドライブを外します [1]。
  - b. ハードドライブをスライドさせて持ち上げ、ブラケットから取り外します [2]。

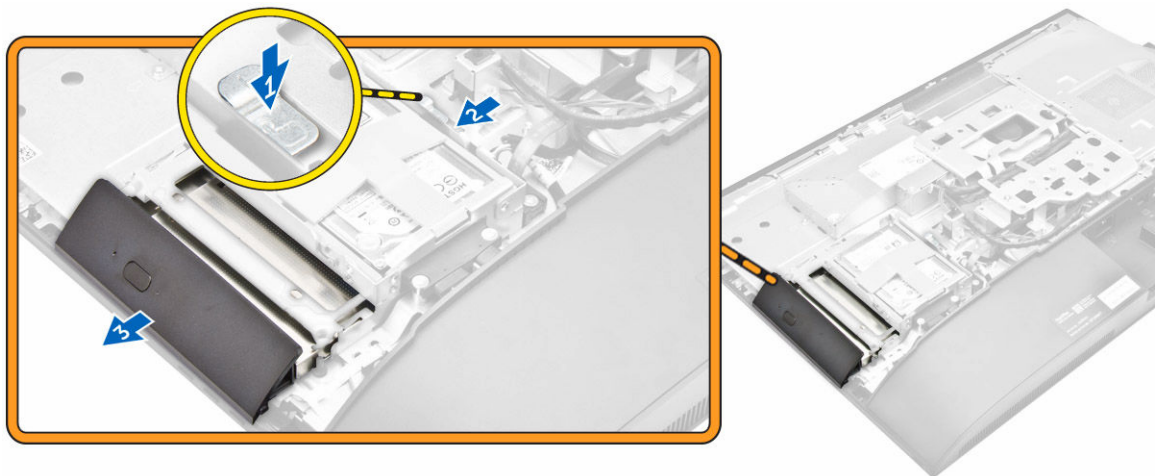


## ハードドライブアセンブリの取り付け

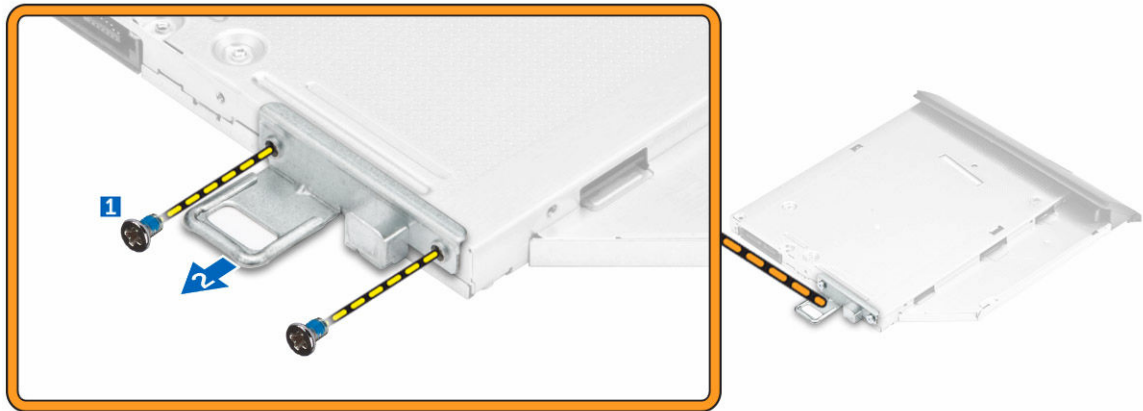
1. 切り込みが揃うまでハードドライブの位置を合わせて、ハードドライブをブラケットに固定します。
2. 切込みが揃ってカチッと収まるまで、ハードドライブをハードドライブケースにセットします。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
  - a. [背面カバー](#)
  - b. [スタンド](#)
4. 「[コンピュータ内部の作業を終えた後に](#)」の手順に従います。

## オプティカルドライブアセンブリの取り外し

1. 「[コンピュータ内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
  - a. [スタンド](#)
  - b. [背面カバー](#)
3. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
  - a. ドライブの底部にある固定タブを押して、オプティカルドライブを外します [1]。
  - b. オプティカルドライブの背面を押します [2]。
  - c. オプティカルドライブアセンブリを外側にスライドさせて、コンピュータから取り外します [3]。



4. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
  - a. オプティカルドライブブラケットを固定しているネジを外します[1]。
  - b. ブラケットをオプティカルドライブから取り外します [2]。

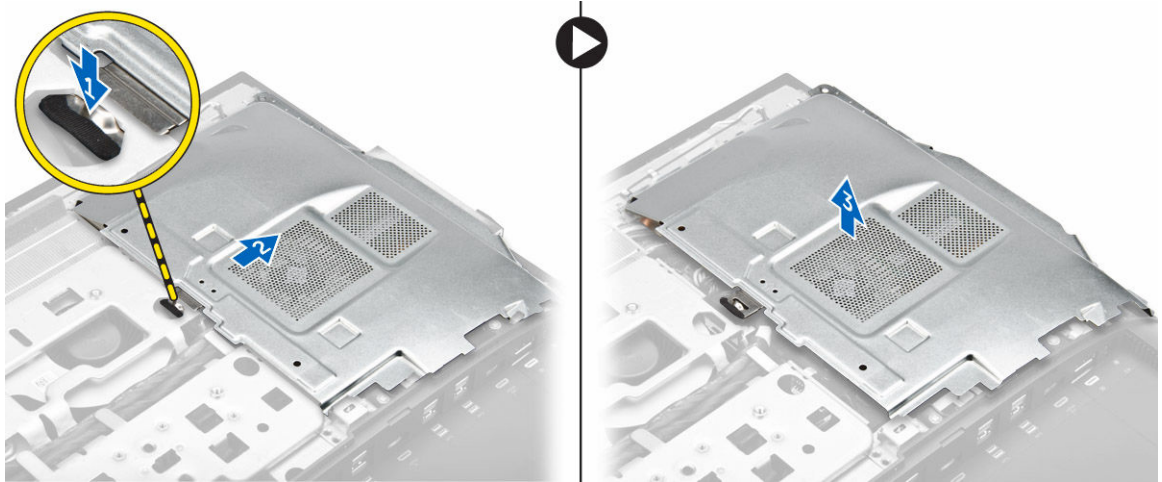


## オプティカルドライブアセンブリの取り付け

1. ネジを締めてブラケットをオプティカルドライブに固定します。
2. オプティカルドライブアセンブリをドライブスロットにカチッと収まるまで挿入します。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
  - a. [背面カバー](#)
  - b. [スタンド](#)
4. 「[コンピュータ内部の作業を終えた後に](#)」の手順に従います。

## システム基板シールドの取り外し

1. 「[コンピュータ内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
  - a. [スタンド](#)
  - b. [背面カバー](#)
3. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
  - a. 固定タブを押して、システム基板シールドをコンピュータのスロットから外します [1]。
  - b. システム基板シールドをコンピュータから引き出します [2]。
  - c. システム基板シールドを持ち上げてコンピュータから取り外します [3]。

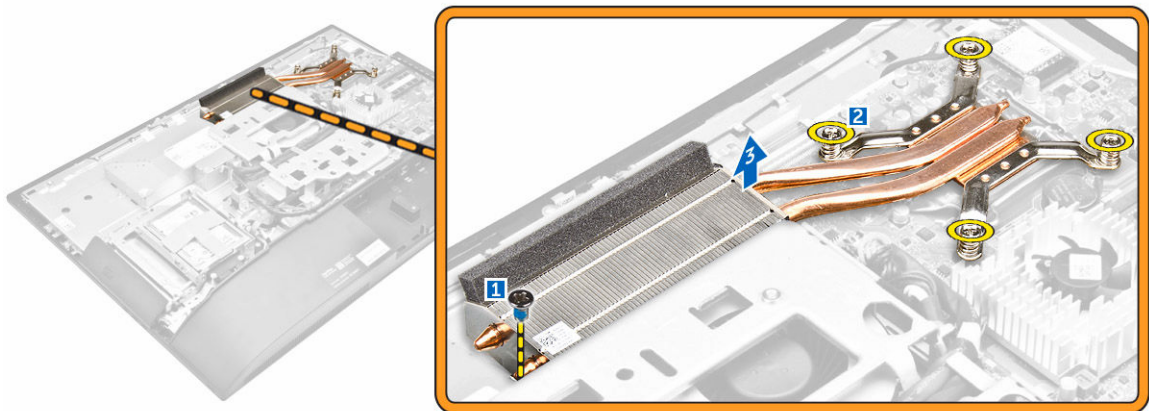


## システム基板シールドの取り付け

1. システム 基板シールドの位置を合わせて、カチッと収まるまでスライドさせます。
2. 次のコンポーネントを取り付けます。
  - a. [背面カバー](#)
  - b. [スタンド](#)
3. 「[コンピュータ内部の作業を終えた後に](#)」の手順に従います。

## ヒートシンクの取り外し

1. 「[コンピュータ内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
  - a. [スタンド](#)
  - b. [背面カバー](#)
  - c. [システム基板シールド](#)
3. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
  - a. ヒートシンクモジュールをシャーシに固定しているネジを外します [1、2]。
  - b. ヒートシンクアセンブリを持ち上げて、コンピュータから取り外します [3]。

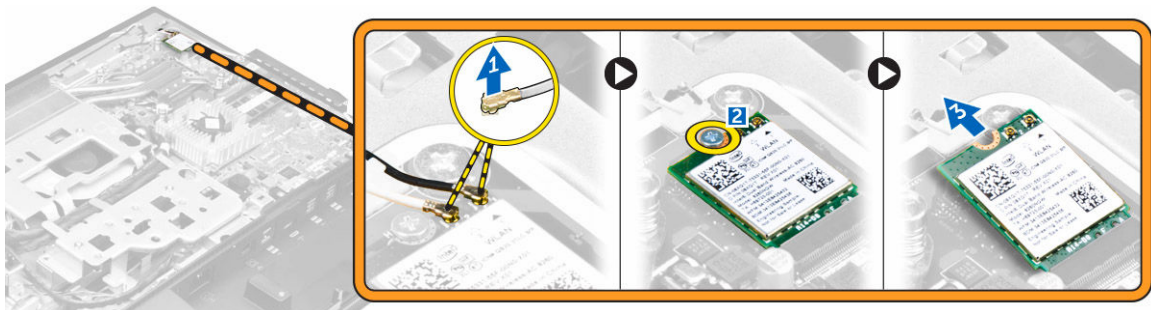


## ヒートシンクの取り付け

1. ヒートシンクの位置を合わせてスロットにセットします。
2. ネジを締めてヒートシンクをコンピュータに固定します。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
  - a. [システム基板シールド](#)
  - b. [背面カバー](#)
  - c. [スタンド](#)
4. 「[コンピュータ内部の作業を終えた後に](#)」の手順に従います。

## WLAN カードの取り外し

1. 「[コンピュータ内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
  - a. [スタンド](#)
  - b. [背面カバー](#)
  - c. [システム基板シールド](#)
3. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
  - a. アンテナケーブルを WLAN カードのコネクタから外します [1]。
  - b. WLAN カードをシステム基板に固定しているネジを外します [2]。
  - c. WLAN カードをつかんでシステム基板のコネクタから引き出します [3]。

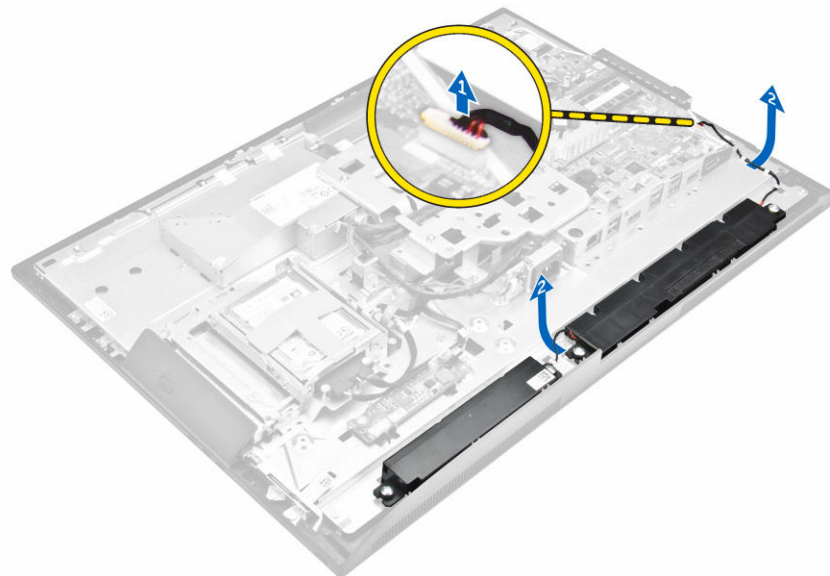


## WLAN カードの取り付け

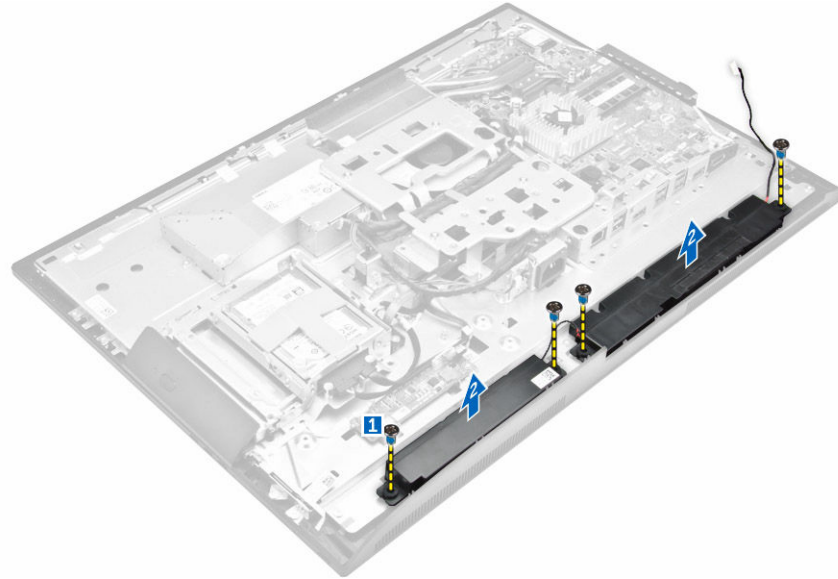
1. WLAN カードをシステム基板のコネクタに合わせます。
2. ネジを締めて WLAN カードをシステム基板に固定します。
3. アンテナケーブルを WLAN カードのコネクタに接続します。
4. 次のコンポーネントを取り付けます。
  - a. [システム基板シールド](#)
  - b. [背面カバー](#)
  - c. [スタンド](#)
5. 「[コンピュータ内部の作業を終えた後に](#)」の手順に従います。

## スピーカーモジュールの取り外し

1. 「[コンピュータ内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
  - a. [スタンド](#)
  - b. [背面カバー](#)
  - c. [ケーブルカバー](#)
  - d. [スピーカーカバー](#)
  - e. [システム基板シールド](#)
3. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
  - a. スピーカーケーブルをシステム基板のコネクタから外します [1]。
  - b. スピーカーケーブルを固定クリップから抜き取ります [2]。



4. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
  - a. スピーカーモジュールをシャーシに固定しているネジを外します [1]。
  - b. スピーカーモジュールを持ち上げて、シャーシから取り外します [2]。

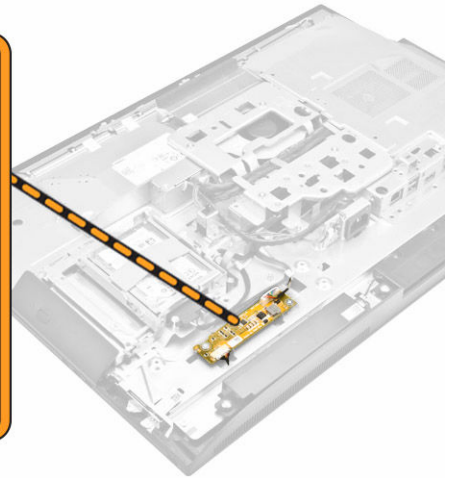
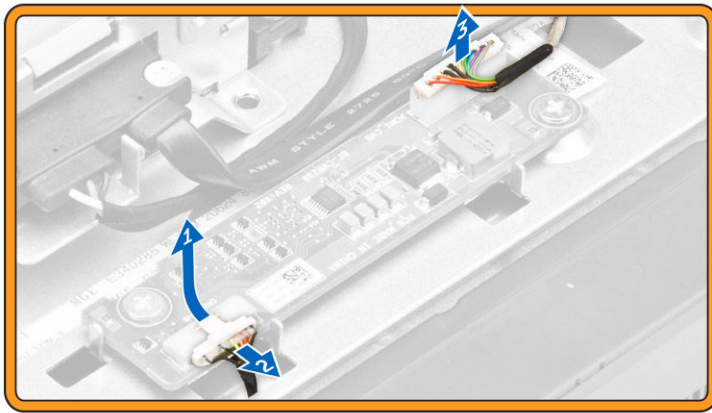


## スピーカーの取り付け

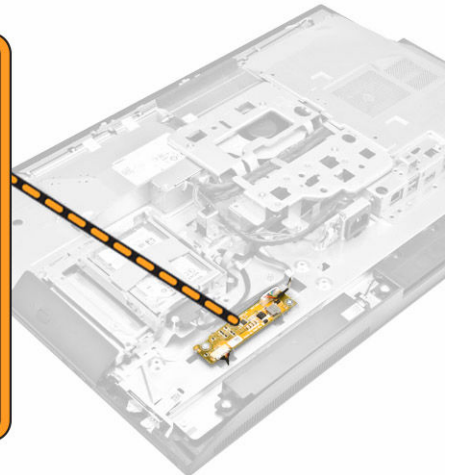
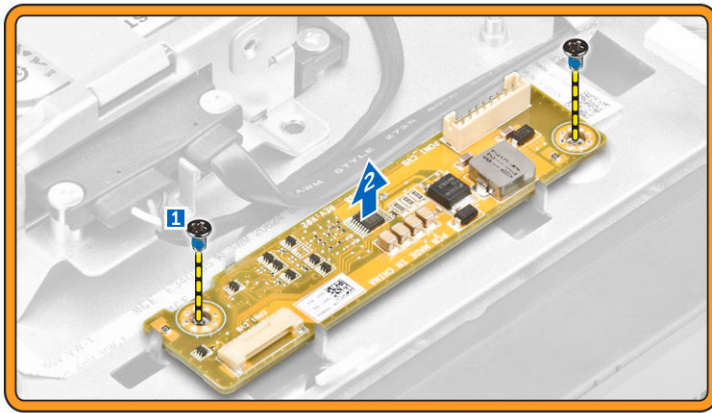
1. スピーカーモジュールをシャーシのスロットに合わせます。
2. ネジを締めてスピーカーをシャーシに固定します。
3. スピーカーケーブルをクリップに通します。
4. スピーカケーブルをシステム基板のコネクタに接続します。
5. 次のコンポーネントを取り付けます。
  - a. [システム基板シールド](#)
  - b. [スピーカーカバー](#)
  - c. [背面カバー](#)
  - d. [ケーブルカバー](#)
  - e. [スタンド](#)
6. [システム基板シールド](#)の手順に従います。

## コンバータボードの取り外し

1. [「コンピュータ内部の作業を始める前に」](#)の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
  - a. [スタンド](#)
  - b. [背面カバー](#)
  - c. [ケーブルカバー](#)
  - d. [スピーカーカバー](#)
3. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
  - a. コンバータボードケーブルをコンバータボードから外します [1、2]。
  - b. ディスプレイバックライトケーブルをコンバータボードから外します [3]。



4. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
- a. コンバータボードをシャーシに固定しているネジを外します [1]。
  - b. コンバータボードを持ち上げて、シャーシから取り外します [2]。

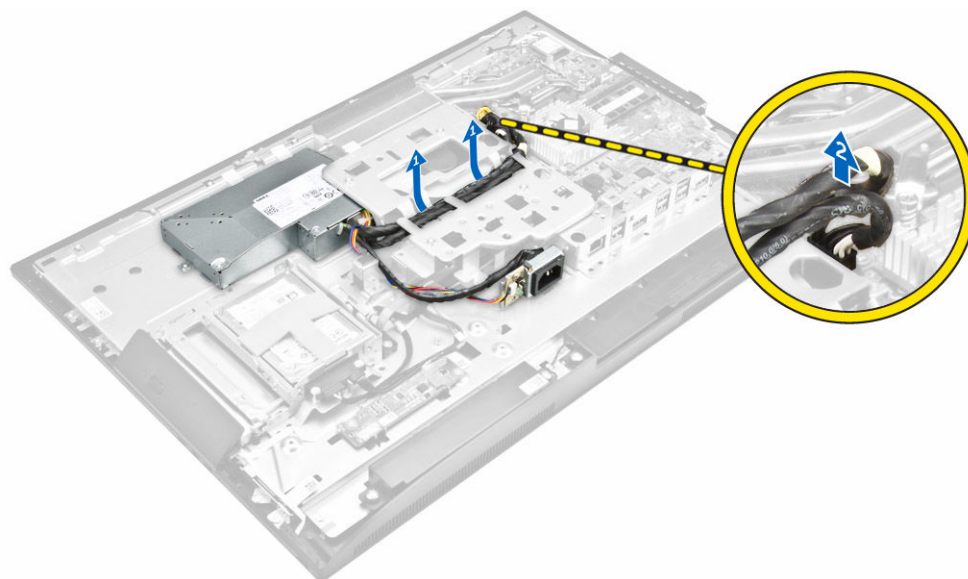


## コンバータボードの取り付け

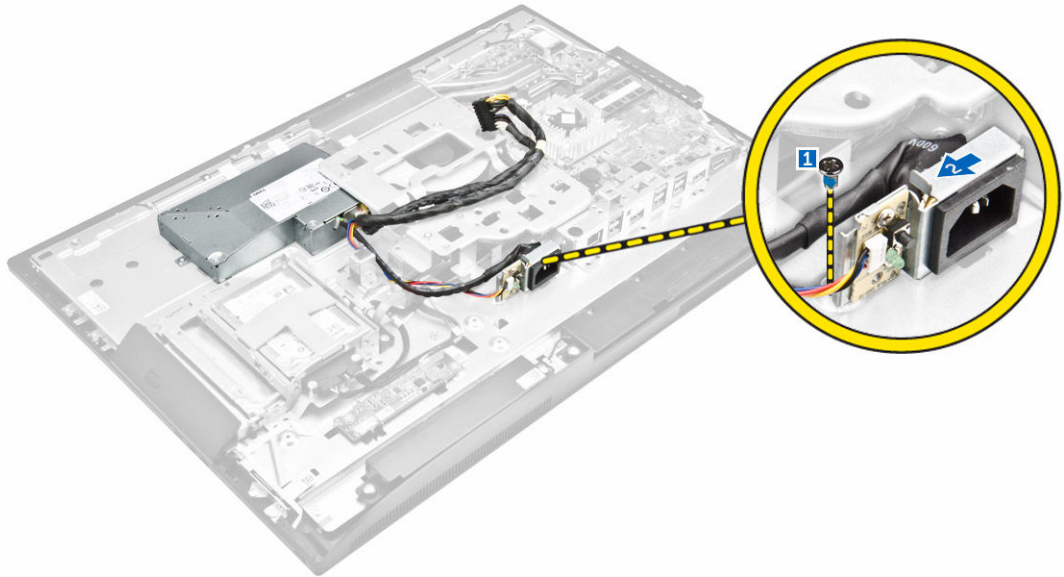
1. コンバータボードをスロットにセットします。
2. ネジを締めてコンバータボードをシャーシに固定します。
3. コンバータボードケーブルとディスプレイバックライトケーブルをコンバータボードのコネクタに接続します。
4. 次のコンポーネントを取り付けます。
  - a. [スピーカーカバー](#)
  - b. [ケーブルカバー](#)
  - c. [背面カバー](#)
  - d. [スタンド](#)
5. 「[コンピュータ内部の作業を終えた後に](#)」の手順に従います。

## 電源装置ユニット (PSU) の取り外し

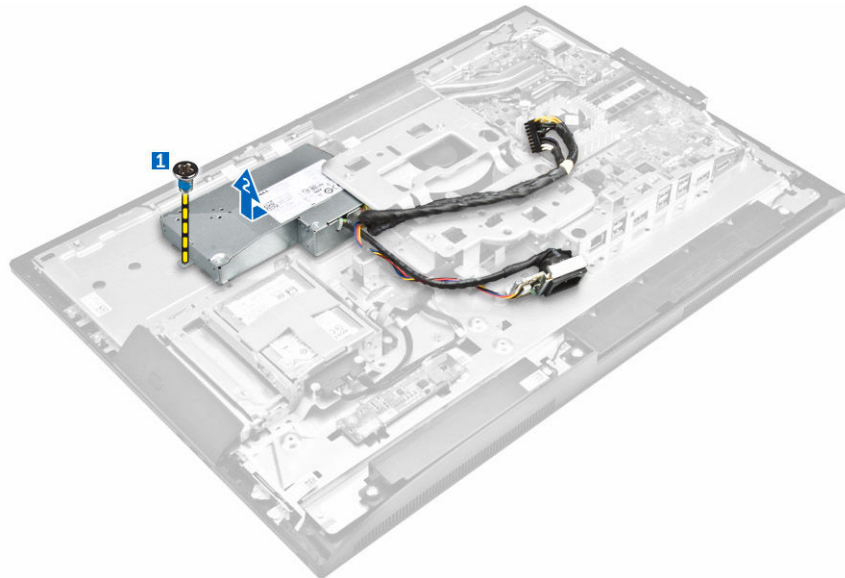
1. [「コンピュータ内部の作業を始める前に」](#)の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
  - a. [スタンド](#)
  - b. [背面カバー](#)
  - c. [ケーブルカバー](#)
  - d. [スピーカーカバー](#)
  - e. [システム基板シールド](#)
3. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
  - a. 電源ケーブルをシャーシの固定クリップから抜き取ります [1]。
  - b. システム基板のコネクタから電源ケーブルを外します [2]。



4. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
  - a. 電源ソケットをシャーシに固定しているネジを外します [1]。
  - b. ソケットをスライドさせてコンピュータから取り外します [2]。



5. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
  - a. PSU をシャーシに固定しているネジを外します [1]。
  - b. PSU をスライドさせて持ち上げ、シャーシから取り外します [2]。



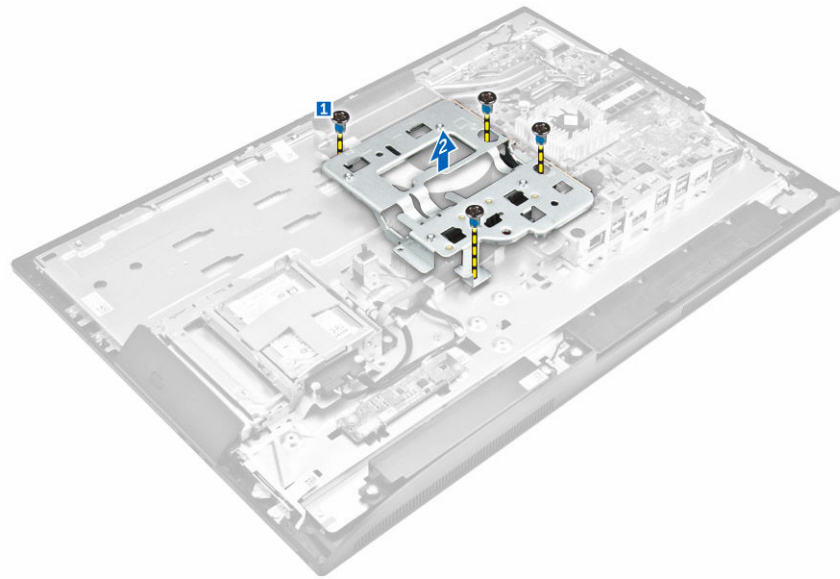
## 電源装置ユニット (PSU) の取り付け

1. PSU をシャーシにセットします。
2. ネジを締めて PSU をシャーシに固定します。
3. ソケットをシャーシのスロットにセットします。
4. ネジを締めて電源装置のソケットをシャーシに固定します。
5. 電源ケーブルをシャーシの固定クリップに通します。
6. 電源ケーブルをシステム基板のコネクタに接続します。

7. 次のコンポーネントを取り付けます。
  - a. [システム基板シールド](#)
  - b. [スピーカーカバー](#)
  - c. [ケーブルカバー](#)
  - d. [背面カバー](#)
  - e. [スタンド](#)
8. 「[コンピュータ内部の作業を終えた後に](#)」の手順に従います。

## VESA マウントブラケットの取り外し

1. 「[コンピュータ内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
  - a. [スタンド](#)
  - b. [背面カバー](#)
  - c. [システム基板シールド](#)
  - d. [電源装置ユニット](#)
3. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
  - a. VESA マウントブラケットをコンピュータに固定しているネジを外します [1]。
  - b. ブラケットを持ち上げてコンピュータから取り外します [2]。



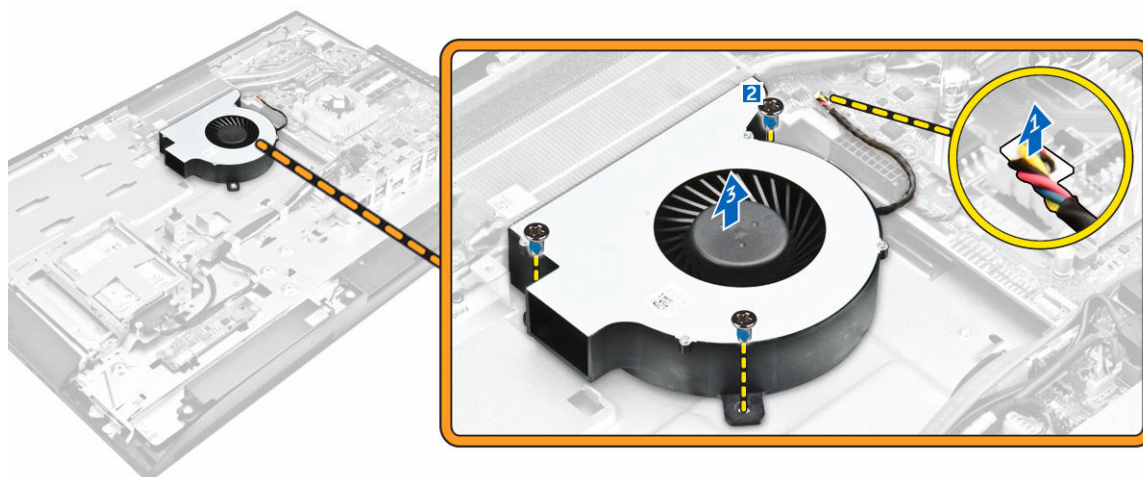
## VESA マウントブラケットの取り付け

1. ブラケットの位置を合わせて、コンピュータのスロットにセットします。
2. VESA マウントブラケットをコンピュータに固定するネジを締めます。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
  - a. [電源装置ユニット](#)
  - b. [システム基板シールド](#)
  - c. [背面カバー](#)
  - d. [スタンド](#)

4. 「[コンピュータ内部の作業を終えた後に](#)」の手順に従います。

## プロセッサファンの取り外し

1. 「[コンピュータ内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
  - a. [スタンド](#)
  - b. [背面カバー](#)
  - c. [システム基板シールド](#)
  - d. [電源装置ユニット](#)
  - e. [VESA マウントブラケット](#)
3. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
  - a. システム基板のコネクタからプロセッサファンケーブルを外します [1]。
  - b. プロセッサファンをコンピュータに固定しているネジを外します [2]。
  - c. プロセッサファンを持ち上げて、コンピュータから取り外します [3]。

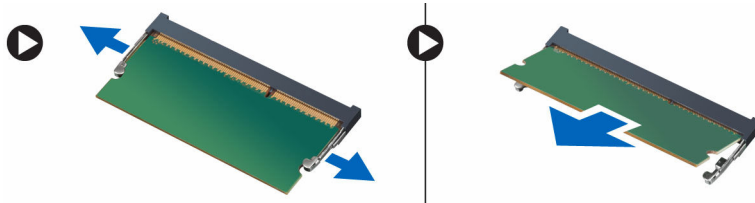


## プロセッサファンの取り付け

1. プロセッサファンの位置を合わせて、シャーシのスロットにセットします。
2. ネジを締めてプロセッサファンをシステム基板に固定します。
3. システム基板上のコネクタにプロセッサファンケーブルを接続します。
4. 次のコンポーネントを取り付けます。
  - a. [VESA マウントブラケット](#)
  - b. [電源装置ユニット](#)
  - c. [システム基板シールド](#)
  - d. [背面カバー](#)
  - e. [スタンド](#)
5. 「[コンピュータ内部の作業を終えた後に](#)」の手順に従います。

## メモリモジュールの取り外し

1. [「コンピュータ内部の作業を始める前に」](#)の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
  - a. [スタンド](#)
  - b. [背面カバー](#)
  - c. [システム基板シールド](#)
3. メモリモジュールが飛び出すまで、メモリモジュールから固定クリップを引き出します。メモリモジュールを持ち上げて、コネクタから取り外します。

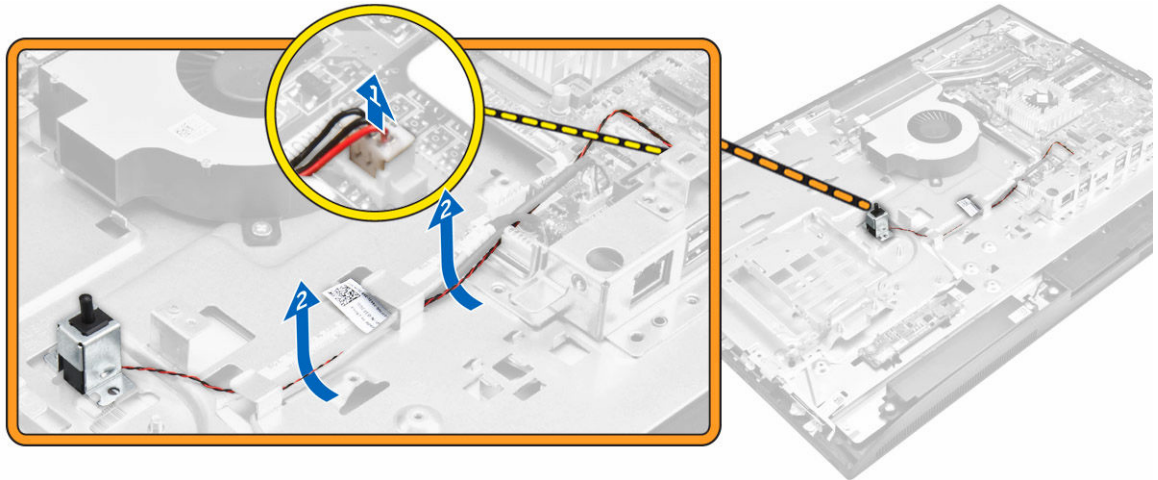


## メモリモジュールの取り付け

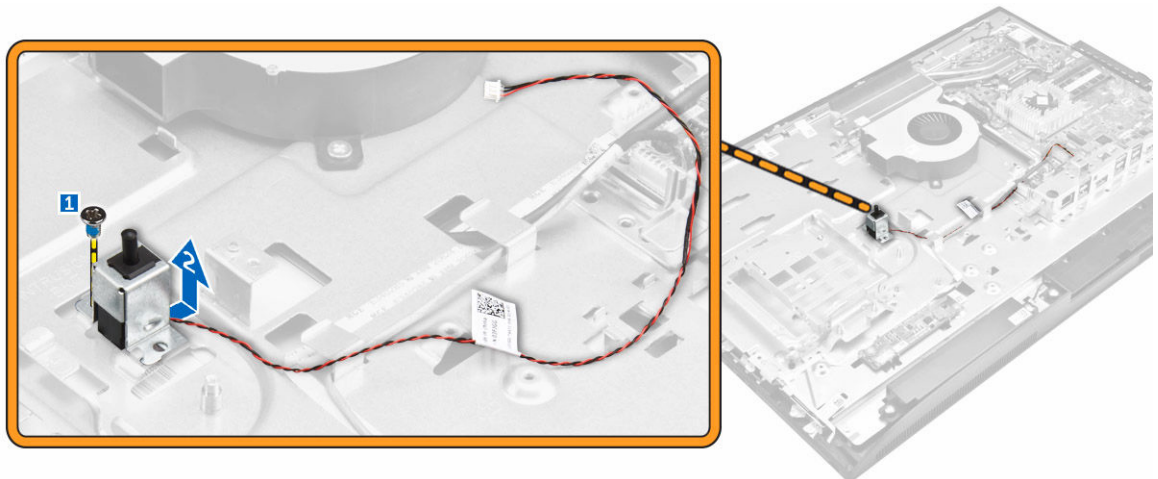
1. メモリカードの切り込みをシステム基板コネクタのタブの位置に合わせます。
2. 固定クリップが跳ね返るまでメモリモジュールを押し下げ、所定の位置に固定します。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
  - a. [システム基板シールド](#)
  - b. [背面カバー](#)
  - c. [スタンド](#)
4. [「コンピュータ内部の作業を終えた後に」](#)の手順に従います。

## イントルージョンスイッチの取り外し

1. [「コンピュータ内部の作業を始める前に」](#)の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
  - a. [スタンド](#)
  - b. [背面カバー](#)
  - c. [VESAマウントブラケット](#)
  - d. [システム基板シールド](#)
3. 図に示すように、次の手順を行ってください。
  - a. システム基板のコネクタからイントルージョンスイッチケーブルを外します [1]。
  - b. コンピュータの固定クリップからイントルージョンスイッチケーブルを抜き取ります [2]。



4. 図に示すように、次の手順を行ってください。
- a. インテルvプロスイッチをシャーシに固定しているネジを外します [1]。
  - b. インテルvプロスイッチをスライドさせて持ち上げ、コンピュータから取り外します [2]。

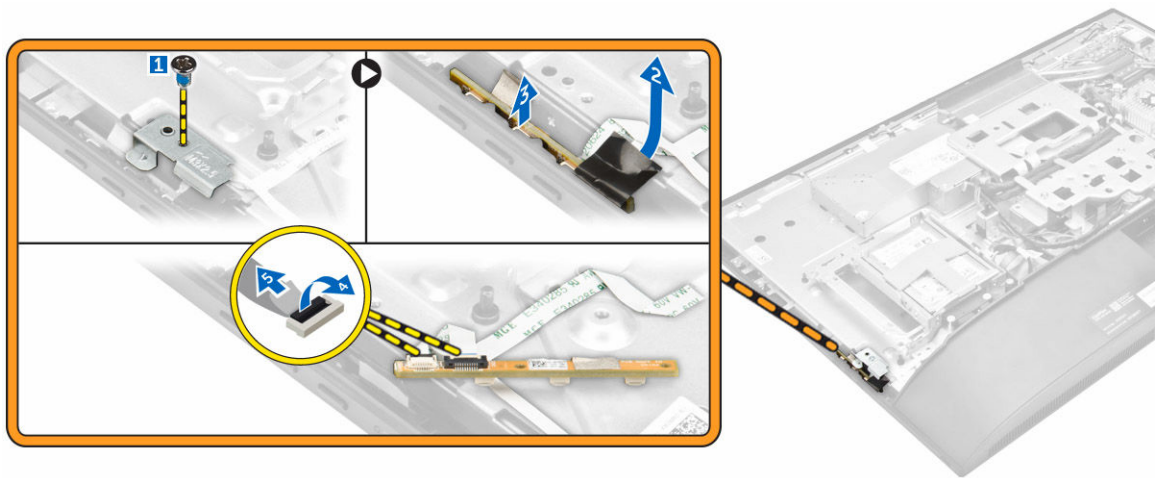


## インテルvプロスイッチの取り付け

1. インテルvプロスイッチをコンピュータのスロットにセットします。
2. ネジを締めてインテルvプロスイッチドをシャーシに固定します。
3. ケーブルをシャーシの固定クリップに沿って通します。
4. インテルvプロスイッチケーブルをシステム基板のコネクタに接続します。
5. 次のコンポーネントを取り付けます。
  - a. [システム基板シールド](#)
  - b. [VESA マウントブラケット](#)
  - c. [背面カバー](#)
  - d. [スタンド](#)
6. 「[コンピュータ内部の作業を終えた後に](#)」の手順に従います。

## 電源およびオンスクリーンディスプレイ（OSD）ボタンボードの取り外し

1. [「コンピュータ内部の作業を始める前に」](#)の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
  - a. [スタンド](#)
  - b. [背面カバー](#)
3. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
  - a. ネジを外して、電源および OSD ボタンボードをコンピュータに固定している金属プレートを取り外します [1]。
  - b. OSD ボタンボードからテープをはがします [2]。
  - c. 電源および OSD ボタンボードをシャーシから取り外します [3]。
  - d. 電源および OSD ボタンボードからケーブルを外して、コンピュータからボードを外します[4、5]。



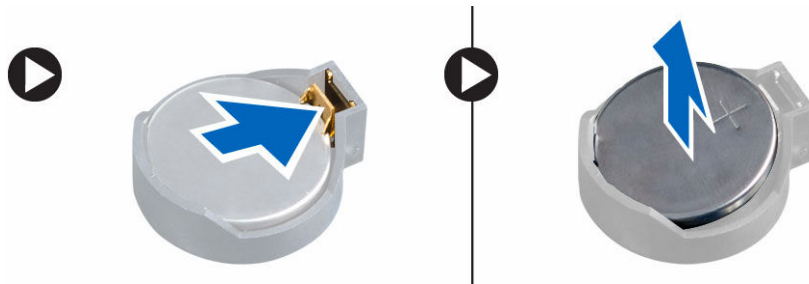
## 電源および OSD ボタンボードの取り付け

1. 電源ケーブルおよび OSD ボタンケーブルを電源および OSD ボタンボードに接続します。
2. OSD ボタンボードにテープを貼り付けます。
3. 電源および OSD ボタンボードをスロットに挿入します。
4. 電源および OSD ボタンボードの金属プレートの位置を合わせます。
5. ネジを締めて電源および OSD ボタンボードを固定します。
6. 次のコンポーネントを取り付けます。
  - a. [背面カバー](#)
  - b. [スタンド](#)
7. [「コンピュータ内部の作業を終えた後に」](#)の手順に従います。

## コイン型電池の取り外し

1. [「コンピュータ内部の作業を始める前に」](#)の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。

- a. [スタンド](#)
  - b. [背面カバー](#)
  - c. [システム基板シールド](#)
3. ラッチを押してコイン型電池を外し、コンピュータから取り外します。



## コイン型電池の取り付け

1. コイン型電池をシステム基板の所定のスロットにしっかりと収まるまで差し込みます。
2. 次のコンポーネントを取り付けます。
  - a. [システム基板シールド](#)
  - b. [背面カバー](#)
  - c. [スタンド](#)
3. 「[コンピュータ内部の作業を終えた後に](#)」の手順に従います。

## プロセッサの取り外し

1. 「[コンピュータ内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
  - a. [スタンド](#)
  - b. [背面カバー](#)
  - c. [VESA マウントブラケット](#)
  - d. [システム基板シールド](#)
  - e. [ヒートシンク](#)
3. プロセッサカバーを押して持ち上げ、プロセッサをソケットから取り外します。
  - a. レバーを押し下げてプロセッサシールドのタブの下からソケットレバーを外します [1]。
  - b. レバーを持ち上げて、プロセッサシールドを持ち上げます [2]。

**△ 注意:** プロセッサソケットピンは壊れやすく、損傷して修復できなくなることがあります。プロセッサをソケットから取り外す際には、プロセッサソケットのピンを曲げないように気をつけてください。

- c. プロセッサを持ち上げて、ソケットから外します [3]。

**✎ メモ:** プロセッサを取り外したら、再利用、返品、または一時的な保管のために、静電気防止容器に入れます。接触による損傷を防ぐため、プロセッサの底部に触れないでください。プロセッサは側面の端以外に触れないでください。



## プロセッサの取り付け

1. プロセッサをソケットキーに合わせます。

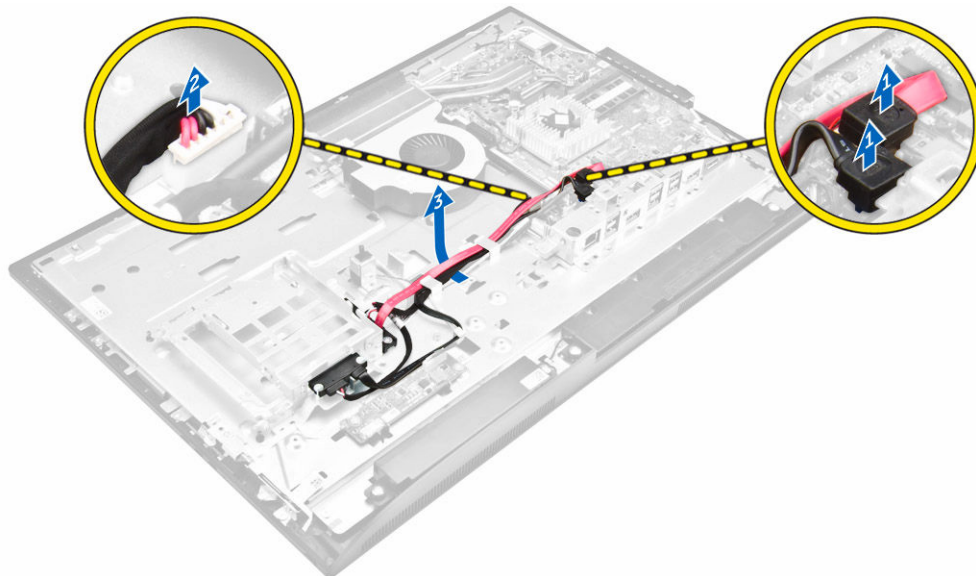
△ 注意: プロセッサを無理に押し込まないでください。プロセッサの位置が合っていれば、簡単にソケットに入ります。

2. プロセッサのピン1インジケータをソケットの三角形に揃えます。
3. プロセッサのソケットがソケットキーに合うように、プロセッサをソケットに置きます。
4. プロセッサシールドを固定ネジの下にスライドさせて閉じます。
5. ソケットレバーを下げ、タブの下に押し込んでロックします。
6. 次のコンポーネントを取り付けます。
  - a. [ヒートシンク](#)
  - b. [システム基板シールド](#)
  - c. [VESA マウントブラケット](#)
  - d. [背面カバー](#)
  - e. [スタンド](#)
7. 「[コンピュータ内部の作業を終えた後に](#)」の手順に従います。

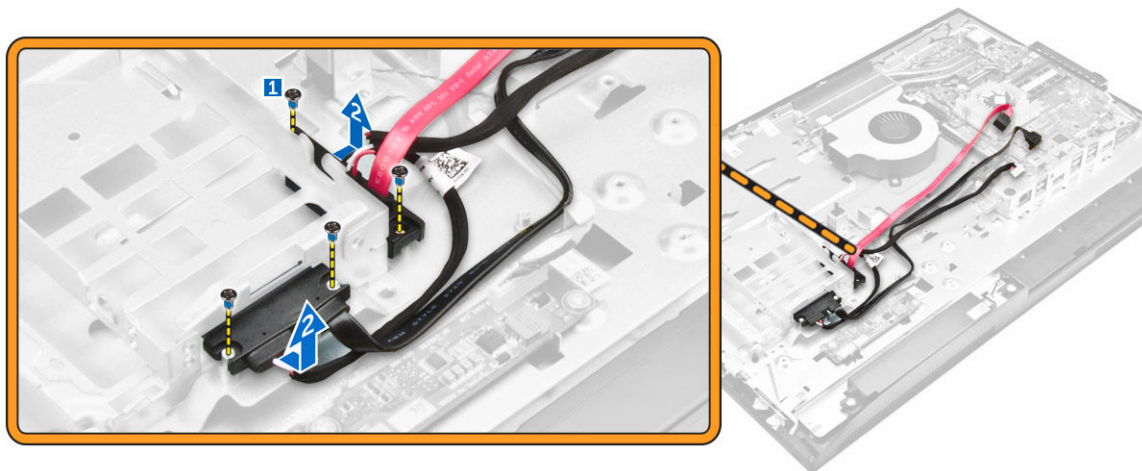
## システム基板の取り外し

1. 「[コンピュータ内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
  - a. [スタンド](#)
  - b. [背面カバー](#)
  - c. [ケーブルカバー](#)
  - d. [スピーカーカバー](#)
  - e. [VESA マウントブラケット](#)
  - f. [システム基板シールド](#)
  - g. [メモリ](#)
  - h. [オプティカルドライブ](#)
  - i. [ハードドライブ](#)
  - j. [ヒートシンク](#)
  - k. [電源装置ユニット](#)
  - l. [コンバータボード](#)
  - m. [プロセッサファン](#)
3. 図に示すように、以下の手順を行ってください。

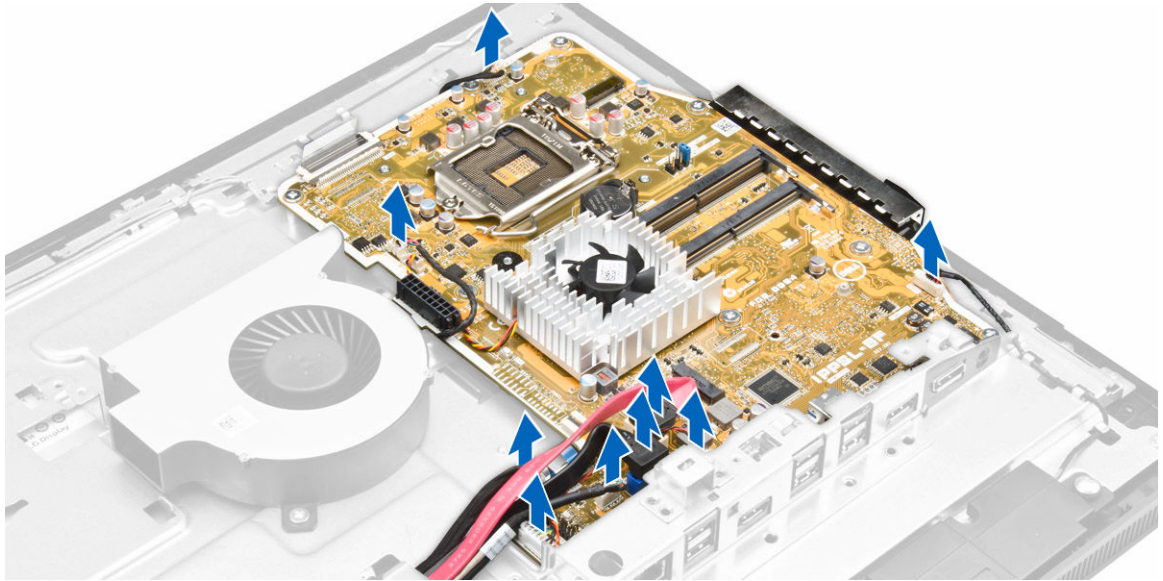
- a. オプティカルドライブケーブルとハードドライブケーブルをシステム基板のコネクタから外します [1]。
- b. タッチパッドケーブルをシステム基板のコネクタから外します [2]。
- c. コンピュータの固定クリップからケーブルを抜き取ります [3]。



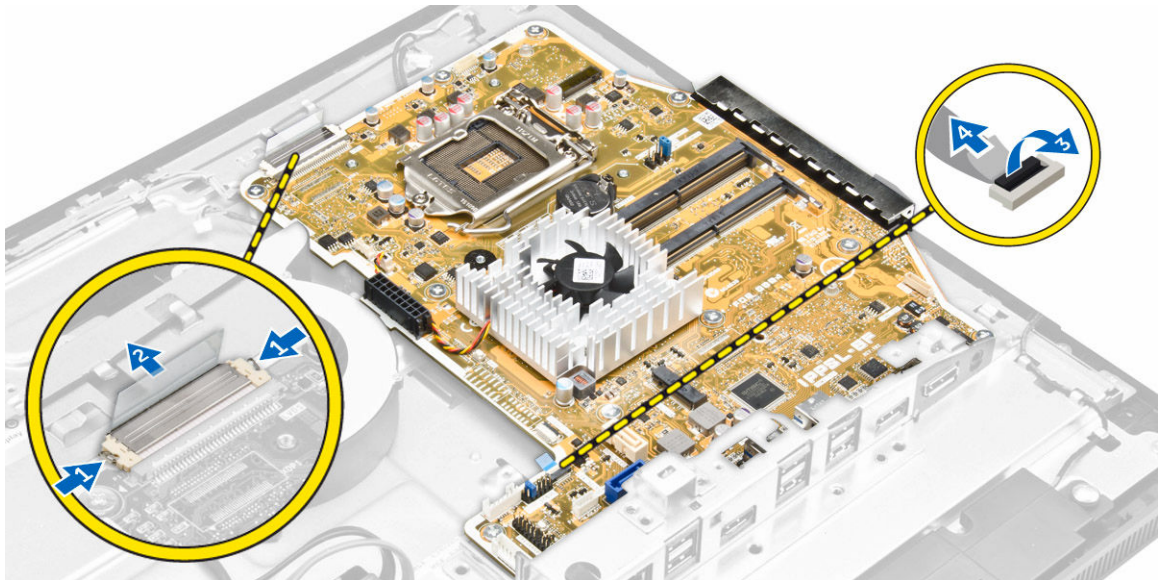
4. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
  - a. オプティカルドライブケーブルとハードドライブケーブルをシステムに固定しているネジを外します [1]。
  - b. オプティカルドライブケーブルとハードドライブケーブルを外します [2]。



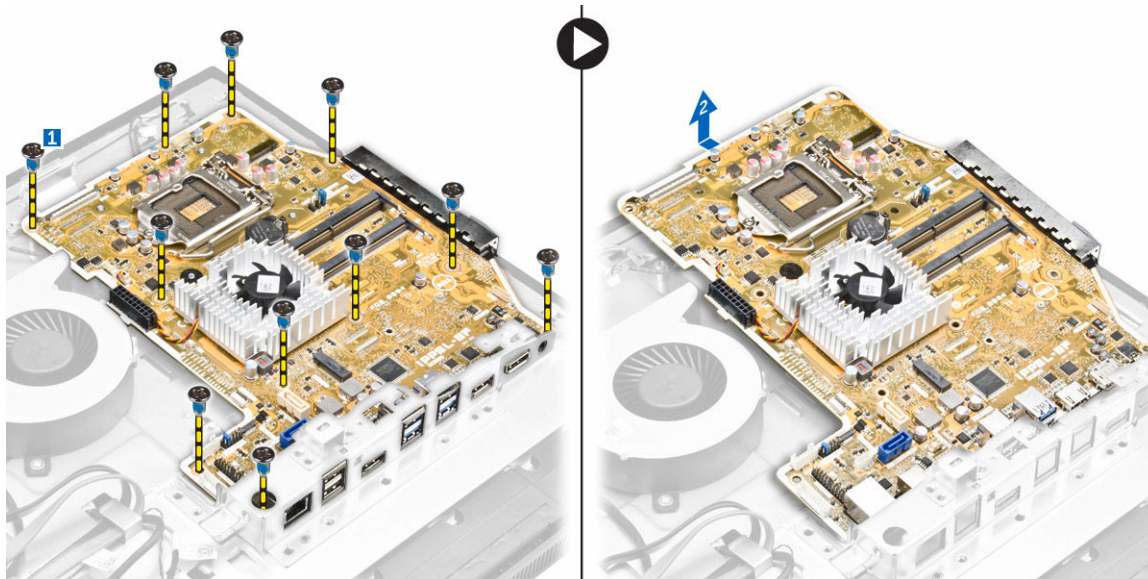
5. システム基板に接続されているケーブルをすべて外します。



6. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
- a. コネクタの両端のラッチを押して LDVS ケーブルを引き、システム基板から外します [1、2]。
  - b. ラッチを持ち上げてコネクタからケーブルを外します [3、4]。

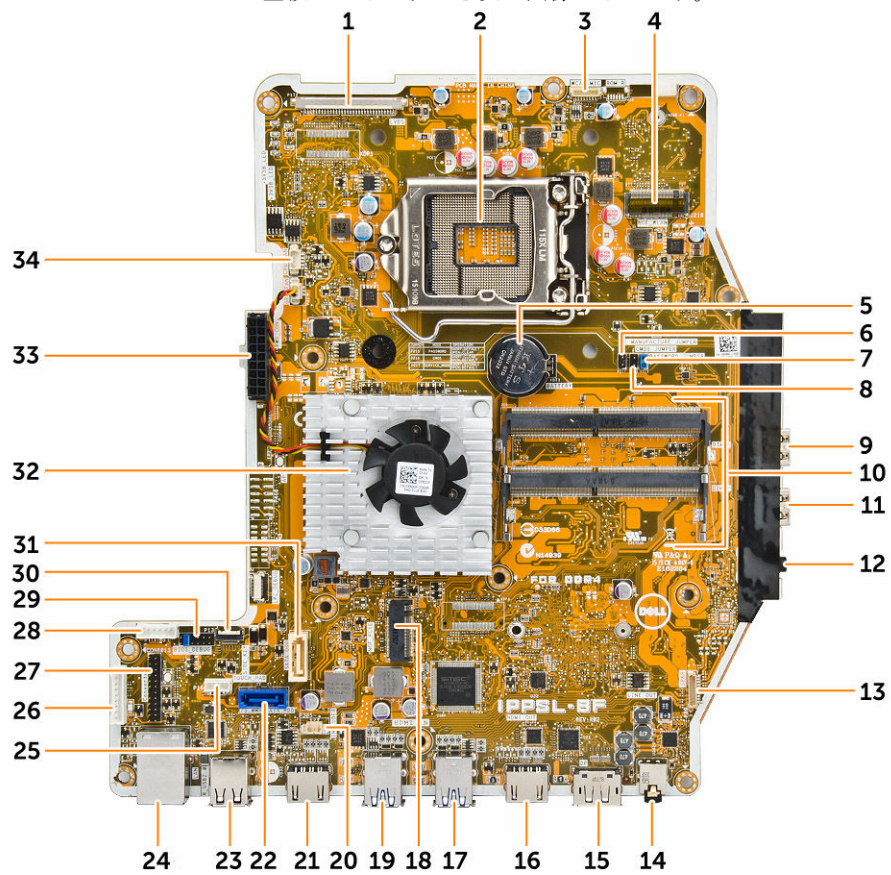


7. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
- a. システム基板をシャーシに固定しているネジを外します [1]。
  - b. システム基板をスライドさせて持ち上げ、シャーシから取り外します [2]。



## システム基板のレイアウト

コンピュータのシステム基板のレイアウトを次の画像に示します。




- |                          |                           |
|--------------------------|---------------------------|
| 1. LVDS コネクタ             | 2. プロセッサソケット              |
| 3. カメラコネクタ               | 4. WLAN コネクタ              |
| 5. コイン型電池                | 6. ジャンパコネクタ               |
| 7. ジャンパコネクタ              | 8. ジャンパコネクタ               |
| 9. USB 3.0 コネクタ          | 10. メモリコネクタ (SODIMM ソケット) |
| 11. USB 3.0 コネクタ         | 12. オーディオコネクタ             |
| 13. スピーカーコネクタ            | 14. オーディオコネクタ             |
| 15. DisplayPort コネクタ     | 16. HDMI 出力コネクタ           |
| 17. USB 3.0 コネクタ         | 18. M.2 SSD スロット          |
| 19. USB 3.0 コネクタ         | 20. インテルーションスイッチコネクタ      |
| 21. HDMI 入力コネクタ          | 22. ハードドライブコネクタ           |
| 23. USB 2.0 コネクタ         | 24. イーサネットコネクタ            |
| 25. タッチパッドコネクタ           | 26. コンバータボードコネクタ          |
| 27. Windows シリアルデバッグコネクタ | 28. HDD / ODD 電源コネクタ      |
| 29. SPI デバッグコネクタ         | 30. サイドキーボードコネクタ          |
| 31. オプティカルドライブコネクタ       | 32. ヒートシンク                |
| 33. 電源装置コネクタ             | 34. プロセッサファンコネクタ          |

## システム基板の取り付け

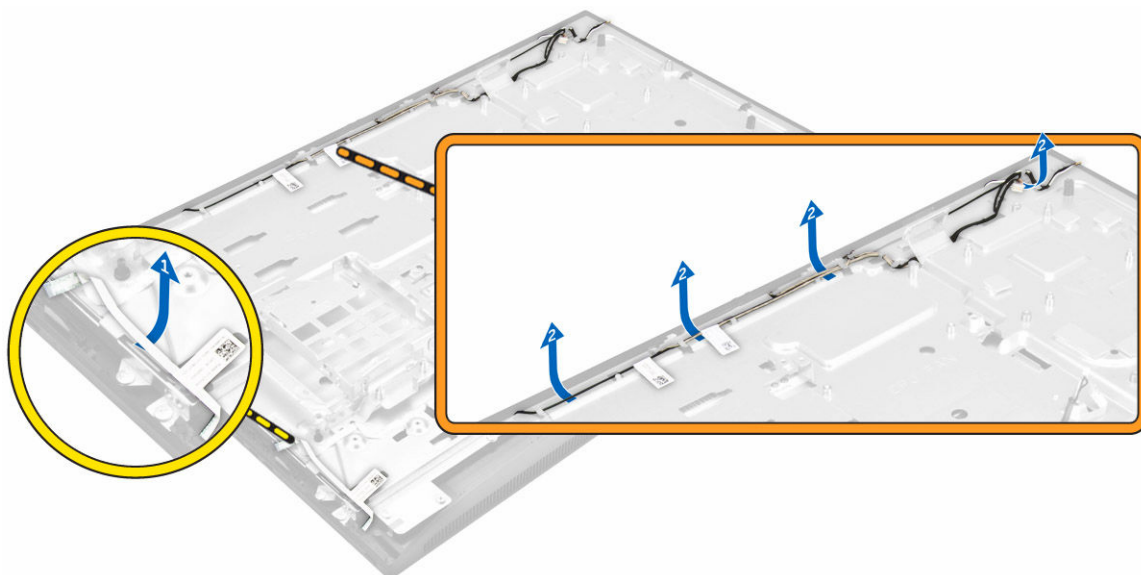
1. システム基板をコンピューター上に配置します。
2. システム基板にすべてのケーブルを接続します。
3. システム基板をベースパネルに固定するネジを締めます。
4. オプティカルドライブケーブルとハードドライブケーブルをシステムに接続して、ケーブルを固定クリップに通します。
5. 次のコンポーネントを取り付けます。
  - a. [プロセッサファン](#)
  - b. [コンバータボード](#)
  - c. [電源装置ユニット](#)
  - d. [ヒートシンク](#)
  - e. [ハードドライブ](#)
  - f. [オプティカルドライブ](#)
  - g. [メモリ](#)
  - h. [システム基板シールド](#)
  - i. [VESA マウントブラケット](#)
  - j. [ケーブルカバー](#)
  - k. [スピーカーカバー](#)
  - l. [背面カバー](#)
  - m. [スタンド](#)
6. 「[コンピュータ内部の作業を終えた後に](#)」の手順に従います。

## ディスプレイアセンブリの取り外し

1. [「コンピュータ内部の作業を始める前に」](#)の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
  - a. [スタンド](#)
  - b. [背面カバー](#)
  - c. [ケーブルカバー](#)
  - d. [スピーカーカバー](#)
  - e. [VESA マウントブラケット](#)
  - f. [システム基板シールド](#)
  - g. [WLAN カード](#)
  - h. [オプティカルドライブ](#)
  - i. [ハードドライブ](#)
  - j. [インテルージョンスイッチ](#)
  - k. [電源および OSD ボタンボード](#)
  - l. [コンバータボード](#)
  - m. [電源装置ユニット](#)
  - n. [ヒートシンク](#)
  - o. [プロセッサファン](#)
  - p. [スピーカー](#)
  - q. [システム基板](#)

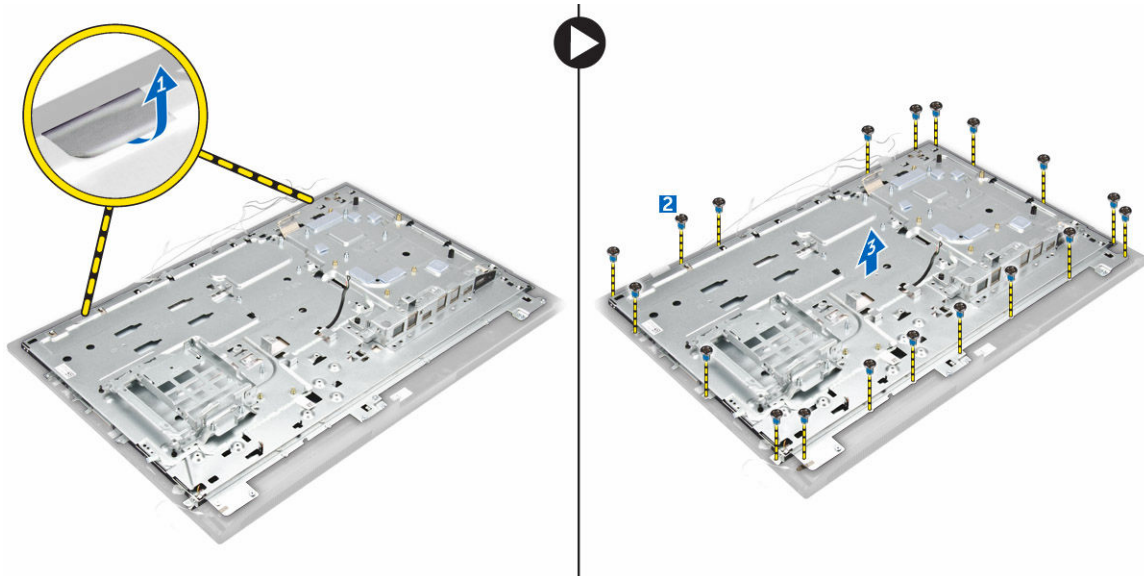
 **メモ:** これらの説明はハンズフリーコンピュータにのみ有効です。タッチコンピュータの場合は、ディスプレイパネルはクリーンルーム環境で分解してください。

3. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
  - a. 固定クリップから電源スイッチケーブルを外します [1]。
  - b. カメラケーブルをディスプレイパネルの固定クリップから抜き取ります [2]。

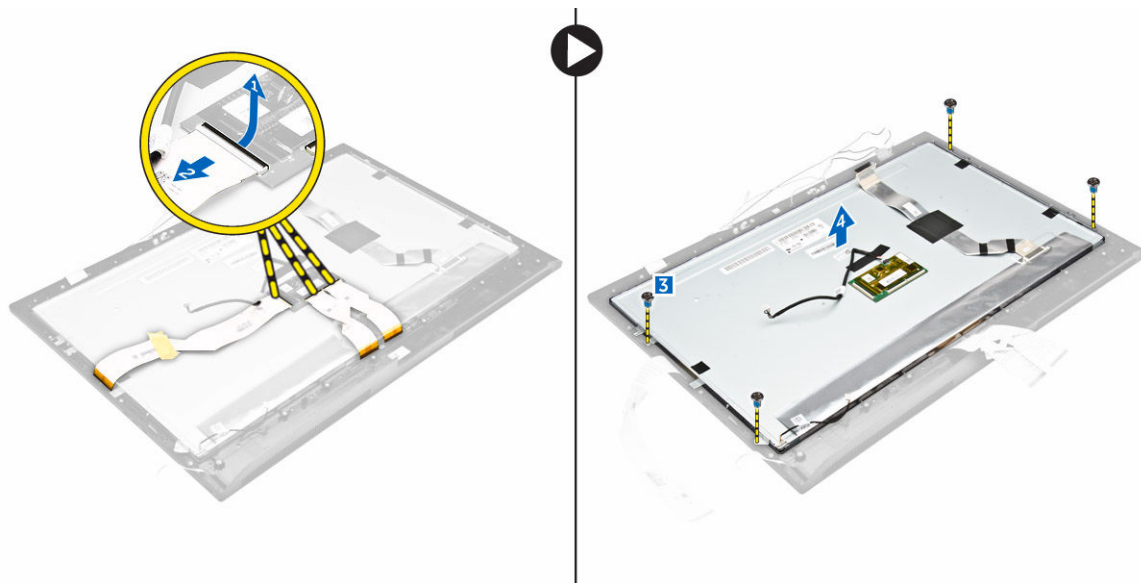


4. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
  - a. テープを剥がしてケーブルを取り出せるようにします [1]。

- b. ベースパネルをシャーシに固定しているネジを外します [2]。
- c. ディスプレイパネルベースを持ち上げて、ディスプレイベゼルから取り外します [3]。



5. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
  - a. ラッチを持ち上げてケーブルを外します [1、2]。
  - b. ディスプレイアセンブリをシャーシに固定しているネジを外します [3]。
  - c. ディスプレイアセンブリを持ち上げてコンピュータから取り外します [4]。



## ディスプレイアセンブリの取り付け

1. ネジを締め、ディスプレイブラケットをディスプレイパネルに固定します。
2. ディスプレイパネルをシャーシにセットします。
3. ディスプレイパネルにテープを貼り付けます。

4. すべてのケーブルをそろえてディスプレイパネルの固定クリップに通します。
5. ネジを締めてラッチをコンピュータに固定します。
6. 次のコンポーネントを取り付けます。
  - a. [システム基板](#)
  - b. [スピーカー](#)
  - c. [プロセッサファン](#)
  - d. [ヒートシンク](#)
  - e. [電源装置ユニット](#)
  - f. [コンバータボード](#)
  - g. [電源および OSD ボタンボード](#)
  - h. [インテルージョンスイッチ](#)
  - i. [ハードドライブ](#)
  - j. [オプティカルドライブ](#)
  - k. [WLAN カード](#)
  - l. [システム基板シールド](#)
  - m. [VESA マウントブラケット](#)
  - n. [スピーカーカバー](#)
  - o. [ケーブルカバー](#)
  - p. [背面カバー](#)
  - q. [スタンド](#)
7. 「[コンピュータ内部の作業を終えた後に](#)」の手順に従います。

## セットアップユーティリティ

セットアップユーティリティでコンピュータのハードウェアを管理し BIOS レベルのオプションを指定することができます。セットアップユーティリティで、以下の操作が可能です：

- ハードウェアの追加または削除後に NVRAM 設定を変更する。
- システムハードウェアの構成を表示する。
- 内蔵デバイスの有効 / 無効を切り替える。
- パフォーマンスと電力管理のしきい値を設定する。
- コンピュータのセキュリティを管理する。

### Boot Sequence

起動順序ではセットアップユーティリティで定義された起動デバイスの順序および起動ディレクトリを特定のデバイス (例: オプティカルドライブまたはハードドライブ) にバイパスすることができます。パワーオンセルフテスト(POST)中に、Dell のロゴが表示されたら、以下の操作が可能です：

- <F2> を押してセットアップユーティリティにアクセスする
- <F12> を押して 1 回限りの起動メニューを立ち上げる

1 回限りの起動メニューでは診断オプションを含むオプションから起動可能なデバイスを表示します。起動メニューのオプションは以下の通りです：

- リムーバブルドライブ(利用可能な場合)
- STXXXX ドライブ
  - ☞ **メモ:** XXX は、SATA ドライブの番号を意味します。
- オプティカルドライブ
- 診断
  - ☞ **メモ:** 診断を選択すると **ePSA 診断** 画面が表示されます。


起動順序画面ではシステムセットアップ画面にアクセスするオプションを表示することも可能です。

### ナビゲーションキー


以下の表ではセットアップユーティリティのナビゲーションキーを示しています。

- ☞ **メモ:** ほとんどのセットアップユーティリティオプションで、変更内容は記録されますが、システムを再起動するまでは有効になりません。

表 1. ナビゲーションキー

キー	ナビゲーション
上矢印	前のフィールドに移動します。
下矢印	次のフィールドへ移動します。
<Enter>	選択したフィールドに値を入力するか（該当する場合）、フィールド内のリンクに移動することができます。
スペースバー	ドロップダウンリストがある場合は、展開したり折りたたんだりします。
タブ	次のフォーカス対象領域に移動します。  <b>メモ:</b> 標準グラフィックブラウザ用に限られます。
<Esc>	メイン画面が表示されるまで、前のページに戻ります。メイン画面で <Esc> を押すと、未保存の変更を保存するプロンプトが表示され、システムが再起動します。
F1	セットアップユーティリティのヘルプファイルを表示します。

## セットアップユーティリティオプション

 **メモ:** お使いのコンピュータおよび取り付けられているデバイスによっては、本項に一覧表示された項目の一部がない場合があります。

## 一般的な画面オプション

このセクションには、コンピュータの主要なハードウェア機能が一覧表示されます。



オプション	説明
システム情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>System Information (システム情報) : BIOS Version (BIOS バージョン)、Service Tag (サービスタグ)、Asset Tag (アセットタグ)、Ownership Tag (所有者タグ)、Ownership Date (購入日)、Manufacture Date (製造日)、Express Service Code (エクスペレスサービスコード) が表示されます。</li> <li>Memory Information (メモリ情報) : Memory Installed (搭載容量)、Memory Available (使用可能な容量)、Memory Speed (速度)、Memory Channels Mode (チャンネルモード)、Memory Technology (テクノロジー)、DIMM A Size (DIMM A のサイズ)、DIMM B Size (DIMM B のサイズ) が表示されます。</li> <li>PCI information (PCI 情報) : SLOT 1、SLOT 2 が表示されます。</li> <li>Processor Information (プロセッサ情報) : Processor Type (種類)、Core Count (コア数)、Processor ID (ID)、Current Clock Speed (現在のクロックスピード)、Minimum Clock Speed (最小クロックスピード)、Maximum Clock Speed (最大クロックスピード)、Processor L2 Cache (プロセッサ L2 キャッシュ)、Processor L3 Cache (プロセッサ L3 キャッシュ)、HT Capable (HT 対応)、64-Bit Technology (64 ビットテクノロジー) が表示されます。</li> <li>Device Information (デバイス情報) : SATA-0、SATA-1、LOM MAC Address (LOM MAC アドレス)、Video Controller (ビデオコントローラ)、dGPU Video Controller (dGPU ビデオコントローラ)、Audio Controller (オーディオコントローラ)、Wi-Fi Device (Wi-Fi デバイス)、Bluetooth Device (Bluetooth デバイス) が表示されます。</li> </ul>

## オプション Boot Sequence

### 説明

#### Boot Sequence

コンピュータがオペレーティングシステムを認識する順序を指定できます。起動順序を変更するには、右側にあるリストから変更したいデバイスを選択します。デバイスを選択したら、上下の矢印をクリックするか、またはキーボードの Page Up/ Page Down キーを使用して、起動オプションの順序を変更します。左側にあるチェックボックスを使用してリストから選択または選択解除することもできます。レガシーオプション ROM でレガシー起動モードをセットアップすることができるようにする必要があります。安全起動を有効にしている場合は、レガシー起動モードにすることはできません。オプションは次のとおりです。

- Boot Sequence (起動順序) - デフォルトでは、Windows 起動マネージャのチェックボックスが選択されています。  
 **メモ:** デフォルトのオプションは、お使いのコンピュータのオペレーティングシステムに基づいて異なる場合があります。
- Boot List Option (起動リストオプション) - リストオプションは Legacy (レガシー) および UEFI です。デフォルトでは、オプション UEFI が選択されています。  
 **メモ:** デフォルトのオプションは、お使いのコンピュータのオペレーティングシステムに基づいて異なる場合があります。
- Add Boot Option (起動オプションの追加) - 起動オプションを追加することができます。
- Delete Boot Option (起動オプションの削除) - 既存の起動オプションを削除することができます。
- View (表示) - 現在の起動オプションをコンピュータに表示することができます。
- Restore Settings (設定の復元) - コンピュータのデフォルト設定を復元します。
- Save Settings (設定の保存) - コンピュータの設定を保存します。
- Apply (適用) - 設定を適用することができます。
- Exit (終了) - コンピュータを終了および開始します。

#### 起動リストオプション

起動リストオプションを変更することができます。

- Legacy (レガシー)
- UEFI (デフォルトで有効)

## Advanced Boot Options


このオプションでは、レガシーオプション ROM をロードできます。**Enable Legacy Option ROM (レガシーオプション ROM を有効にする)** はデフォルト無効に設定されています。


- Restore Settings (設定の復元) - コンピュータのデフォルト設定を復元します
- Save Settings (設定の保存) - コンピュータの設定を保存します

オプション	<b>説明</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Apply (適用) - 設定を適用することができます</li> <li>• Exit (終了) - コンピュータを終了および開始します</li> </ul>
-------	--

日付/時刻                    日付と時刻を変更することができます。






## システム設定画面のオプション



オプション	<b>説明</b>
<b>Integrated NIC</b>	<p>UEFI ネットワークスタックを有効にする場合、UEFI ネットワークプロトコルが利用可能になります。UEFI ネットワークによって前の OS と初期の OS のネットワーク機能で有効 NIC が使用可能になります。これは PXE の電源を入れずに使用することができます。Enabled w/PXE (PXE で有効) を有効にする場合、PXE 起動タイプ (レガシー PXE または UEFI PXE) は現在の起動モードおよび使用中のオプション ROM のタイプによります。UEFI ネットワークスタックは、UEFI PXE 機能を完全に有効化するうえで必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Enabled UEFI Network Stack (UEFI ネットワークスタックを有効にする) - このオプションはデフォルトで無効に設定されています。</li> </ul> <p>内蔵ネットワークコントローラを設定することができます。オプションは次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Disabled (無効)</li> <li>• Enabled (有効)</li> <li>• Enabled w/PXE (PXE 付で有効) : このオプションはデフォルトで有効に設定されています。</li> <li>• Enabled w/Cloud Desktop (クラウドデスクトップで有効)</li> </ul> <p> <b>メモ:</b> お使いのコンピュータおよび取り付けられているデバイスによっては、本項に一覧表示された項目の一部がない場合があります。</p>
<b>SATA Operation</b>	<p>内蔵 SATA ハードドライブコントローラを設定することができます。オプションは次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Disabled (無効)</li> <li>• AHCI</li> <li>• RAID On (RAID オン) : このオプションはデフォルトで有効に設定されています。</li> </ul>
<b>ドライブ</b>	<p>オンボードの SATA ドライブを設定することができます。すべてのドライブがデフォルトで有効に設定されています。オプションは以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• SATA-0</li> <li>• SATA-1</li> <li>• SATA-4</li> <li>• M.2 PCIe SSD-0</li> </ul>

オプション	説明
<b>SMART Reporting</b>	<p>このフィールドにより、システム起動時に内蔵ドライブのハードドライブエラーを報告するかどうかを決めます。このテクノロジーは、SMART (Self Monitoring Analysis and Reporting Technology) 仕様の一部です。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Enable SMART Reporting (SMART レポートを有効にする)</li> </ul>
<b>USB Configuration</b>	<p>このフィールドでは、内蔵 USB コントローラを設定します。Boot Support (起動サポート) が有効の場合、システムはあらゆる種類の USB 大容量ストレージデバイス (HDD、メモリキー、フロッピー) から起動することができます。</p> <p>USB ポートが有効の場合、このポートに接続されたデバイスは有効で、OS で利用できます。</p> <p>USB ポートが無効の場合、OS はこのポートに接続されたデバイスを認識できません。</p> <p>オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Enable USB Boot Support (USB 起動サポートを有効にする)</li> <li>• Enable Rear USB Ports (背面 USB ポートを有効にする) : オプションで 6 つのポートを含む</li> <li>• Enable Side USB Ports (側面 USB ポートを有効にする) : オプションで 2 つのポートを含む</li> </ul> <p>すべてのオプションがデフォルトで有効に設定されています。</p> <p> <b>メモ:</b> USB キーボードおよびマウスは、この設定に関係なく BIOS セットアップで常に動作します。</p>
<b>Rear USB Configuration</b>	<p>このフィールドでは背面 USB ポートを有効または無効にできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Enable/Disable Rear USB Ports (背面 USB ポートを有効 / 無効にする)</li> </ul>
<b>Side USB Configuration</b>	<p>このフィールドでは側面 USB ポートを有効または無効にできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Enable/Disable Side USB Ports (背面 USB ポートを有効 / 無効にする)</li> </ul>
<b>USB PowerShare</b>	<p>このフィールドでは、USB PowerShare 機能の動作を設定できます。このオプションでは、USB PowerShare ポートから保存されているシステムバッテリー電源を使用して外部デバイスを充電することができます。</p>
<b>Audio</b>	<p>このフィールドでは、内蔵オーディオコントローラを有効または無効に設定します。デフォルトでは <b>Enable Audio (オーディオを有効にする)</b> オプションが選択されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Enable Microphone (マイクを有効にする) (デフォルトで有効)</li> <li>• Enable Internal Speaker (内蔵スピーカーを有効にする) (デフォルトで有効)</li> </ul>
<b>OSD Button Management</b>	<p>このフィールドでは、All-In-One システムの OSD (オンスクリーンディスプレイ) ボタンを有効または無効にできます。</p>

<b>オプション</b>	<b>説明</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>Disable OSD buttons (OSD ボタンを無効にする) : このオプションはデフォルトではチェックされていません。</li> </ul>
<b>Touchscreen</b>	このオプションでは、タッチスクリーンを有効または無効にできます。
<b>Miscellaneous Devices</b>	以下のデバイスを有効または無効にできます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>Enable Camera (カメラを有効にする) (デフォルトで有効)</li> <li>Enable Media Card (メディアカードを有効にする) (デフォルトで有効)</li> <li>Disable Media Card (メディアカードを無効にする)</li> </ul>

## セキュリティ画面オプション

<b>オプション</b>	<b>説明</b>
<b>Admin Password</b>	管理者 (Admin) パスワードを設定、変更、または削除することができます。   <b>メモ:</b> システムパスワードまたはハードドライブパスワードを設定する前に、Admin パスワードを設定する必要があります。Admin パスワードを削除すると、システムパスワードとハードドライブパスワードは自動的に削除されます。   <b>メモ:</b> パスワードが正常に変更されると、すぐに反映されます。  デフォルト設定 : Not set (未設定)
<b>System Password</b>	システムパスワードを設定、変更、または削除することができます。   <b>メモ:</b> パスワードが正常に変更されると、すぐに反映されます。  デフォルト設定 : Not set (未設定)
<b>Internal HDD-0 Password</b>	システム の内蔵ハードディスクのパスワードを設定、変更、または削除することができます。  デフォルト設定 : Not set (未設定)   <b>メモ:</b> パスワードが正常に変更されると、すぐに反映されます。
<b>Strong Password</b>	強力なパスワードを設定するオプションを常に強制することができます。 デフォルト設定 : Enable Strong Password (強力なパスワードを有効にする) は選択されません。   <b>メモ:</b> Strong Password (強力なパスワード) を有効に設定すると、Admin パスワードとシステムパスワードに大文字と小文字をそれぞれ少なくとも 1 文字使い、8 文字以上の長さにしなければなりません。
<b>Password Configuration</b>	Administrator パスワードとシステムパスワードの最小および最大文字数を設定することができます。

オプション	説明
<b>Password Bypass</b>	<p>システムパスワードと内蔵 HDD パスワードが設定されている場合に、これらのパスワードをスキップする許可を有効または無効にすることができます。オプションは次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Disabled (無効)</li> <li>• Reboot bypass (再起動のスキップ)</li> </ul> <p>デフォルト設定 : Disabled (無効)</p>
<b>Password Change</b>	<p>管理者パスワードが設定されている場合、システムパスワードとハードドライブパスワードへの許可を、有効または無効にすることができます。</p> <p>デフォルト設定 : <b>Allow Non-Admin Password Changes (管理者以外のパスワード変更を許可する)</b> が選択されています。</p>
<b>TPM 1.2 Security</b>	<p>POST 中に、TPM (Trusted Platform Module) を有効にすることができます。このオプションはデフォルトでは有効になっています。オプションは次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Clear (クリア)</li> <li>• 有効なコマンドの PPI をスキップ</li> <li>• 無効なコマンドの PPI をスキップ</li> <li>• アテステーションを有効にする</li> <li>• キーストレージを有効にする</li> <li>• SHA - 256</li> </ul> <p> <b>メモ:</b> セットアッププログラムのデフォルト値を読み込んでも、起動、起動しない、および消去のオプションには影響しません。このオプションが変更されると、すぐに反映されます。</p>
<b>Computrace (R)</b>	<p>オプションである Computrace ソフトウェアを起動または無効にすることができます。オプションは次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Deactivate (非アクティブ)</li> <li>• Disable (無効)</li> <li>• Activate (アクティブ)</li> </ul> <p> <b>メモ:</b> Activate (アクティブ) および Disable (無効) オプションでは、機能を永久的にアクティブまたは無効にします。その後の変更はできません。</p> <p>デフォルト設定 : Deactivate (非アクティブ)</p>
<b>Chassis Intrusion</b>	<p>このフィールドでは、シャーシイントルージョン機能を制御します。オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Disabled (無効)</li> <li>• Enabled (有効)</li> </ul> <p>デフォルト設定 : Disabled (無効)</p>

オプション	説明
<b>CPU XD Support</b>	<p>プロセッサの Execute Disable (実行無効) モードを有効または無効にすることができます。</p> <p>Enable CPU XD Support (CPU XD サポートを有効にする) (デフォルト)</p>
<b>OROM Keyboard Access</b>	<p>起動中にホットキーを使用して、Option ROM Configuration (オプション ROM 設定) 画面を表示するオプションを設定することができます。オプションは以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Enabled (有効)</li> <li>• One Time Enable (1 回のみ有効)</li> <li>• Disabled (無効)</li> </ul> <p>デフォルト設定 : Enable (有効)</p>
<b>Admin Setup Lockout</b>	<p>管理者パスワードが設定されている場合、セットアップユーティリティを起動するオプションを有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Enable Admin Setup Lockout (管理者セットアップロックアウトの有効化) - このオプションはデフォルトで無効に設定されています。</li> </ul>
<b>HDD Protection Support</b>	<p>HDD 保護機能を有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• HDD Protection Support (HDD 保護のサポート) - このオプションはデフォルトで無効に設定されています。</li> </ul>


## 安全起動画面のオプション

オプション	説明
<b>Secure Boot Enable</b>	<p>このオプションは、<b>安全起動</b>機能を有効または無効にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Disabled (無効)</li> <li>• Enabled (有効)</li> </ul> <p>デフォルト設定 : Enabled (有効)</p>
<b>Expert Key Management</b>	<p>システムが Custom Mode (カスタムモード) の場合のみ、セキュリティキーデータベースを操作できます。<b>Enable Custom Mode (カスタムモードを有効にする)</b> オプションはデフォルトで無効に設定されています。オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• PK</li> <li>• KEK</li> <li>• db</li> <li>• dbx</li> </ul> <p><b>Custom Mode (カスタムモード)</b> を有効にすると、<b>PK、KEK、db、および dbx</b> の関連オプションが表示されます。このオプションは次のとおりです。</p>

## オプション

### 説明

- **Save to File (ファイルに保存)** – ユーザーが選択したファイルにキーを保存します。
- **Replace from File (ファイルから置き換え)** – 現在のキーをユーザーが選択したファイルのキーと置き換えます。
- **Append from File (ファイルから追加)** – ユーザーが選択したファイルから現在のデータベースにキーを追加します。
- **Delete (削除)** – 選択したキーを削除します。
- **Reset All Keys (すべてのキーをリセット)** – デフォルト設定にリセットします。
- **Delete All Keys (すべてのキーを削除)** – すべてのキーを削除します。

 **メモ: Custom Mode (カスタムモード)** を無効にすると、すべての変更が消去され、キーはデフォルト設定に復元されます。

## パフォーマンス画面のオプション

### オプション

### 説明

#### Multi Core Support

プロセスが 1 つまたはすべてのコアを有効にするかどうか指定します。コアを追加することでアプリケーションのパフォーマンスが向上する場合があります。

- All (すべて) - このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
- 1
- 2
- 3

#### Intel SpeedStep

Intel SpeedStep 機能を有効または無効にすることができます。

- Enable Intel SpeedStep (Intel SpeedStep を有効にする)

デフォルト設定：オプションは有効に設定されています。

#### C States Control (C ステータスコントロール)

追加プロセッサのスリープ状態を有効または無効にすることができます。

- C States

デフォルト設定：オプションは有効に設定されています。

#### Limit CPUID Value

標準 CPUID 機能サポートの最大値を制限することができます。サポートされる最大 CPUID 機能が 3 を超えると、一部のオペレーションシステムのインストールが完了しません。

- Enable CPUID Limit (CPUID 制限を有効にする) - このオプションはデフォルトで無効に設定されています。




#### Intel TurboBoost

プロセッサの Intel TurboBoost モードを有効または無効にすることができます。

- Enable Intel TurboBoost (Intel TurboBoost を有効にする)

オプション	説明
	デフォルト設定：オプションは有効に設定されています。

## 電力管理画面のオプション

オプション	説明
<b>AC Recovery</b>	<p>AC 電源損失後に、AC 電源を投入したときのコンピュータの動作を指定します。AC リカバリーを次のオプションに設定することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Power Off（電源オフ）（デフォルト）</li> <li>• Power On（電源オン）</li> <li>• Last Power State（直前の電源状態）</li> </ul>
<b>Auto On Time</b>	<p>コンピュータが自動的に起動する時刻を設定することができます。オプションは次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Disabled（無効）</li> <li>• Every Day（毎日）</li> <li>• Weekdays（平日）</li> <li>• Select Days（選択した日）</li> </ul> <p>デフォルト設定：Disabled（無効）</p> <p> <b>メモ:</b> この機能は、電源タップのスイッチやサージプロテクタでコンピュータの電源をオフにした場合、または Auto Power（自動電源）が無効に設定されている場合は動作しません。</p>
<b>Deep Sleep Control</b>	<p>ディープスリープを有効にするタイミングの制御を定義することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Disabled（無効）</li> <li>• Enabled in S5 only（S5 のみで有効）</li> <li>• Enabled in S4 and S5（S4 と S5 で有効） – このオプションはデフォルトで有効に設定されています。</li> </ul>
<b>Fan Control Override</b>	<p>システムファンのスピードをコントロールします。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。</p> <p> <b>メモ:</b> 有効にすると、ファンは最大速度で動作します。</p>
<b>USB Wake Support</b>	<p>USB デバイスをシステムに接続するとスタンバイモードからウェイクするように設定できます。</p> <p> <b>メモ:</b> この機能は、AC 電源アダプタを接続している場合のみ有効になります。スタンバイモード中に AC 電源アダプタを取り外した場合、バッテリーの電力を節約するため、セットアップユーティリティはすべての USB ポートからの電力を移します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Enable USB Wake Support（USB ウェイクサポートを有効にする）</li> </ul>

<b>オプション</b>	<b>説明</b>
	デフォルト設定：オプションは無効に設定されています。
<b>Wake on LAN/ WLAN</b>	LAN 信号によってトリガーされた時にコンピュータをオフ状態からオンにする機能を有効または無効にすることができます。  <ul style="list-style-type: none"> <li>• Disabled (無効)</li> <li>• LAN Only (LAN のみ)</li> <li>• WLAN Only (WLAN のみ)</li> <li>• LAN or WLAN (LAN または WLAN)</li> </ul> デフォルト設定：Disabled (無効)
<b>Block Sleep</b>	このオプションでは、オペレーティングシステム的环境でスリープ (S3 状態) に入るのをブロックします。 Block Sleep (S3 状態)  デフォルト設定：オプションは無効に設定されています。
<b>Intel Ready Mode</b>	このオプションは、Intel Ready Mode テクノロジーの機能を有効にできます。

## POST 動作画面のオプション

<b>オプション</b>	<b>説明</b>
<b>Numlock LED</b>	システム起動時に NumLock 機能を有効にするかどうか指定します。このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
<b>Keyboard Errors</b>	起動時にキーボード関連のエラーを報告するかどうか指定します。このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
<b>MEBx Hotkey</b>	システムの起動時に、MEBx ホットキー機能を有効にするかどうかを指定できます。 デフォルト設定：Enable MEBx Hotkey (MEBx ホットキーを有効にする)
<b>Fastboot</b>	一部の互換性手順をスキップすることにより、起動プロセスを高速化することができます。オプションは次の通りです。  <ul style="list-style-type: none"> <li>• Minimal (最小)</li> <li>• 完全 (デフォルト)</li> <li>• 自動</li> </ul>

## 仮想化サポート画面のオプション

<b>オプション</b>	<b>説明</b>
<b>Virtualization</b>	Intel Virtualization Technology を有効または無効にすることができます。

<b>オプション</b>	<b>説明</b>
	Enable Intel Virtualization Technology (インテル・バーチャライゼーション・テクノロジーを有効にする) (デフォルト)
<b>VT for Direct I/O</b>	<p>ダイレクト I/O 用に Intel® Virtualization テクノロジーによって提供される付加的なハードウェア機能を仮想マシンモニター (VMM) が利用するかどうかを指定します。</p> <p>Enable VT for Direct I/O (ダイレクト I/O 用 VT を有効にする) – デフォルトで有効に設定されています。</p>
<b>Trusted Execution</b>	<p>このオプションでは、Intel Trusted Execution Technology によって提供される付加的なハードウェア機能を Measured Virtual Machine Monitor (MVMM) が利用できるようにするかどうかを指定します。この機能を使用するには、TPM Vitalization Technology、および Virtualization technology for DirectI/O (ダイレクト I/O 用仮想化テクノロジー) を有効にする必要があります。</p> <p>Trusted Execution – デフォルトで無効に設定されています。</p>

## ワイヤレス画面オプション

<b>オプション</b>	<b>説明</b>
<b>Wireless Device Enable</b>	<p>内蔵ワイヤレスデバイスを有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• WLAN/WiGig</li> <li>• Bluetooth</li> </ul> <p>すべてのオプションがデフォルトで有効に設定されています。</p>

## メンテナンス画面のオプション

<b>オプション</b>	<b>説明</b>
<b>Service Tag</b>	お使いのコンピュータのサービスタグが表示されます。
<b>Asset Tag</b>	アセットタグがまだ設定されていない場合、システムアセットタグを作成することができます。このオプションはデフォルトでは設定されていません。
<b>SERR Messages</b>	SERR メッセージのメカニズムをコントロールします。このオプションはデフォルトで有効に設定されています。SERR メッセージのメカニズムが無効になっている必要のあるグラフィックスカードもあります。
<b>BIOS Downgrade</b>	<p>ここで、システムファームウェアの以前のリビジョンへのフラッシングを制御します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• データ消去</li> <li>• 次の起動時に消去</li> <li>• BIOS recovery</li> <li>• ハードドライブからの BIOS リカバリ</li> </ul>

## オプション

### 説明

ハードドライブから BIOS をリカバリするには次の手順に従います。

1. システムに電源を入れます。
2. 青い Dell のロゴが表示されたら、**F2** キーを押してセットアップユーティリティを起動します。
3. **Num Lock** キーを押して、Num Lock ライトが点灯していることを確認します。
4. **Caps Lock** キーを押して、Caps Lock ライトが点灯していることを確認します。
5. **Scroll Lock** キーを押して、Scroll Lock ライトが点灯していることを確認します。
6. **Alt + F** キーを同時に押します。セットアップのデフォルトが復元されると、システムのビーブ音が鳴ります。
7. **Alt + F** キーを同時に押してシステムを再起動します。変更は自動的に保存されます。

## クラウドデスクトップ画面のオプション


### オプション

### 説明

#### Server Lookup Method


このオプションでは、クラウドデスクトップによるサーバーアドレスの検出方法を指定します。オプションは次のとおりです。

- Static IP (静的 IP) - 静的 IP アドレスを使用します。
- DNS - ドメインネームシステム (DNS) プロトコルを使用して複数の IP アドレスを取得します。このオプションはデフォルトで選択されています。

 **メモ:** このオプションでは、System Configuration (システムの設定) グループの Integrated NIC (統合 NIC) コントロールが Enabled with Cloud Desktop (クラウドデスクトップで有効) に設定されている場合のみ、利用可能になります。


#### サーバー名

このオプションでは、サーバーのサーバー名を指定します。

 **メモ:** このオプションは、System Configuration (システムの設定) グループの Integrated NIC (統合 NIC) コントロールが Enabled with Cloud Desktop (クラウドデスクトップで有効) に設定されている場合と、サーバーの検索方式が DNS に設定されている場合のみ利用可能になります。

#### サーバー IP アドレス


このオプションでは、クライアントのソフトウェアが通信するクラウドデスクトップサーバーの主要な静的 IP アドレスを指定します。デフォルトのサーバー IP アドレスは **255.255.255.255** です。

 **メモ:** このオプションでは、System Configuration (システムの設定) グループの Integrated NIC (統合 NIC) コントロールが Enabled with Cloud Desktop (クラウドデスクトップで有効) に設定されている場合のみ、利用可能になります。

#### Server Port (サーバーポート)



このオプションでは、クライアントのソフトウェアが通信するクラウドデスクトップの主要な IP ポートを指定します。デフォルトのサーバーポート値は **06910** です。

オプション	説明
<b>Client Address Method</b>	<p data-bbox="475 252 1409 346"> <b>メモ:</b> このオプションでは、System Configuration（システムの設定）グループの Integrated NIC（統合 NIC）コントロールが Enabled with Cloud Desktop（クラウドデスクトップで有効）に設定されている場合のみ、利用可能になります。</p> <p data-bbox="475 388 1409 451">このオプションでは、クライアントによる IP アドレスの入手方法を指定します。このオプションは次のとおりです。</p> <ul data-bbox="475 472 1409 567" style="list-style-type: none"> <li>• Static IP（静的 IP） - 静的 IP アドレスを使用します。</li> <li>• DHCP - 動的ホスト構成プロトコル（DHCP）を使用して IP アドレスを取得します。このオプションはデフォルトで選択されています。</li> </ul>
<b>クライアント IP アドレス</b>	<p data-bbox="475 588 1409 682"> <b>メモ:</b> このオプションでは、System Configuration（システムの設定）グループの Integrated NIC（統合 NIC）コントロールが Enabled with Cloud Desktop（クラウドデスクトップで有効）に設定されている場合のみ、利用可能になります。</p> <p data-bbox="475 724 1409 787">このオプションでは、クライアントの静的 IP アドレスを指定します。デフォルトの IP アドレスは <b>255.255.255.255</b> です。</p> <p data-bbox="475 808 1409 892"> <b>メモ:</b> このオプションでは、System Configuration（システムの設定）グループの Integrated NIC（統合 NIC）コントロールが Enabled with Cloud Desktop（クラウドデスクトップで有効）に設定されている場合のみ、利用可能になります。</p>
<b>Client Subnet Mask</b>	<p data-bbox="475 934 1409 997">このオプションでは、クライアントのサブネットマスク IP アドレスを指定します。デフォルトの IP アドレスは <b>255.255.255.255</b> です。</p> <p data-bbox="475 1018 1409 1102"> <b>メモ:</b> このオプションでは、System Configuration（システムの設定）グループの Integrated NIC（統合 NIC）コントロールが Enabled with Cloud Desktop（クラウドデスクトップで有効）に設定されている場合のみ、利用可能になります。</p>
<b>Client Gateway</b>	<p data-bbox="475 1144 1409 1207">このオプションでは、クライアントのゲートウェイ IP アドレスを指定します。デフォルトの IP アドレスは <b>255.255.255.255</b> です。</p> <p data-bbox="475 1228 1409 1312"> <b>メモ:</b> このオプションでは、System Configuration（システムの設定）グループの Integrated NIC（統合 NIC）コントロールが Enabled with Cloud Desktop（クラウドデスクトップで有効）に設定されている場合のみ、利用可能になります。</p>
<b>DNS IP address</b>	<p data-bbox="475 1354 1409 1417">このオプションでは、クライアントの DNS IP アドレスを指定します。デフォルトの IP アドレスは <b>255.255.255.255</b> です。</p> <p data-bbox="475 1438 1409 1522"> <b>メモ:</b> このオプションでは、System Configuration（システムの設定）グループの Integrated NIC（統合 NIC）コントロールが Enabled with Cloud Desktop（クラウドデスクトップで有効）に設定されている場合のみ、利用可能になります。</p>
<b>Domain Name（ドメイン名）</b>	<p data-bbox="475 1564 1409 1606">このオプションでは、クライアントのドメイン名を指定します。</p> <p data-bbox="475 1627 1409 1736"> <b>メモ:</b> このオプションは、System Configuration（システムの設定）グループの Integrated NIC（統合 NIC）コントロールが Enabled with Cloud Desktop（クラウドデスクトップで有効）に設定されている場合と、クライアントのアドレス方式が静的 IP に設定されている場合のみ利用可能になります。</p>

オプション	説明
詳細	<p>このオプションでは、詳細なデバックのため Verbose Mode（冗長モード）をオンにします。このオプションはデフォルトでは無効に設定されています。</p> <p> <b>メモ:</b> このオプションでは、System Configuration（システムの設定）グループの Integrated NIC（統合 NIC）コントロールが Enabled with Cloud Desktop（クラウドデスクトップで有効）に設定されている場合のみ、利用可能になります。</p>

## BIOS のアップデート

システム基板を交換する場合やアップデートが入手できる場合は、お使いの BIOS（セットアップユーティリティ）のアップデートを推奨しています。

1. コンピュータを再起動します。
2. [dell.com/support](http://dell.com/support) にアクセスします。
3. サービスタグやエクスプレスサービスコードを入力し、送信をクリックします。
  -  **メモ:** サービスタグを見つけるには、**Where is my Service Tag?（サービスタグの検索）** をクリックします。
  -  **メモ:** サービスタグが見つからない場合は、**Detect My Product（マイプロダクトの検出）** をクリックします。画面上の説明に進みます。
4. サービスタグの検索または検出ができない場合、コンピュータの製品カテゴリをクリックします。
5. リストから **Product Type（製品のタイプ）** を選択します。
6. お使いのコンピュータモデルを選択すると、そのコンピュータの**製品サポートページ**が表示されます。
7. **Get drivers（ドライバを取得）** をクリックし、**View All Drivers（すべてのドライバを表示）** をクリックします。  
Drivers and Downloads（ドライバおよびダウンロード）ページが開きます。
8. ドライバおよびダウンロード画面で、**オペレーティングシステム**ドロップダウンリストから **BIOS** を選択します。
9. 最新の BIOS ファイルを選んで**ファイルをダウンロードします**をクリックします。  
アップデートが必要なドライバを分析することもできます。お使いの製品でこれを行うには、**Analyze System for Updates（アップデートが必要なシステムの分析）** をクリックし、画面の指示に従います。
10. **希望のダウンロード方法を以下から選択してください**ウィンドウで希望のダウンロード方法を選択し、**Download File（ファイルのダウンロード）** をクリックします。  
ファイルのダウンロードウィンドウが表示されます。
11. ファイルをコンピュータに保存する場合は、**保存**をクリックします。
12. **実行**をクリックしてお使いのコンピュータに更新された BIOS 設定をインストールします。  
画面の指示に従います。




## システムパスワードおよびセットアップパスワード

システムパスワードとセットアップパスワードを作成してお使いのコンピュータを保護することができます。

## パスワードの種類 説明


**System password** システムにログオンする際に入力が必要なパスワードです。

**Setup password** お使いのコンピュータの BIOS 設定にアクセスして変更をする際に入力が必要なパスワードです。

-  **注意:** パスワード機能は、コンピュータ内のデータに対して基本的なセキュリティを提供します。
-  **注意:** コンピュータをロックせずに放置すると、コンピュータ上のデータにアクセスされる可能性があります。
-  **メモ:** お使いのシステムは、出荷時にシステムパスワードとセットアップパスワードの機能が無効に設定されています。

## システムパスワードおよびセットアップパスワードの割り当て

パスワードステータスが**ロック解除**の場合に限り、新しいシステムパスワードやセットアップパスワードの設定、または既存のシステムパスワードやセットアップパスワードの変更が可能です。パスワードステータスが**ロック**に設定されている場合、システムパスワードは変更できません。

 **メモ:** パスワードジャンプの設定を無効にすると、既存のシステムパスワードとセットアップパスワードは削除され、コンピュータへのログオン時にシステムパスワードを入力する必要がなくなります。

セットアップユーティリティを起動するには、電源投入または再起動の直後に <F2> を押します。


1. システム BIOS 画面またはセットアップユーティリティ画面で、**システムセキュリティ**を選択し、<Enter> を押します。  
システムセキュリティ画面が表示されます。
2. システムセキュリティ画面でパスワードステータスが**ロック解除**に設定されていることを確認します。
3. **System Password (システムパスワード)** を選択してシステムパスワードを入力し、<Enter> または <Tab> を押します。  
以下のガイドラインに従ってシステムパスワードを設定します。
  - パスワードの文字数は 32 文字までです。
  - 0 から 9 までの数字を含めることができます。
  - 小文字のみ有効です。大文字は使用できません。
  - 特殊文字は、次の文字のみが利用可能です：スペース、(")、(+), (,), (-), (.), (/), (:), (|), (\), (|), (')。

プロンプトが表示されたら、システムパスワードを再度入力します。
4. 入力したシステムパスワードをもう一度入力し、**OK** をクリックします。
5. **Setup Password (セットアップパスワード)** を選択してシステムパスワードを入力し、<Enter> または <Tab> を押します。  
セットアップパスワードの再入力を求めるメッセージが表示されます。
6. 入力したセットアップパスワードをもう一度入力し、**OK** をクリックします。
7. <Esc> を押すと、変更の保存を求めるメッセージが表示されます。
8. <Y> を押して変更を保存します。  
コンピュータが再起動します。


## 既存のシステムパスワードおよび/またはセットアップパスワードの削除または変更




既存のシステムパスワードおよび/またはセットアップパスワードを削除または変更する前に**パスワード状態**がロック解除(システムセットアップで)になっていることを確認します。**パスワード状態**がロックされている場合、既存のシステムパスワードまたはセットアップパスワードを削除または変更することはできません。

セットアップユーティリティを起動するには、電源投入または再起動の直後に <F2> を押します。

1. システム BIOS 画面または**セットアップユーティリティ**画面で、**システムセキュリティ**を選択し、<Enter> を押します。  
システムセキュリティ画面が表示されます。
2. システムセキュリティ画面で**パスワードステータス**が**ロック解除**に設定されていることを確認します。
3. **System Password (システムパスワード)** を選択し、既存のシステムパスワードを変更または削除して、<Enter> または <Tab> を押します。
4. **Setup Password (セットアップパスワード)** を選択し、既存のセットアップパスワードを変更または削除して、<Enter> または <Tab> を押します。  
 **メモ:** システムパスワードおよび/またはセットアップパスワードを変更する場合、プロンプトが表示されたら新しいパスワードを再度入力してください。システムパスワードおよび/またはセットアップパスワードを削除する場合、プロンプトが表示されたら削除を確認してください。
5. <Esc> を押すと、変更の保存を求めるメッセージが表示されます。
6. <Y> を押して変更を保存し**セットアップユーティリティ**を終了します。  
コンピュータが再起動します。

## 技術仕様

 **メモ:** 提供される内容は地域により異なる場合があります。コンピュータの構成に関する詳細は：

- Windows 10 の場合は、スタート  → 設定 → システム → バージョン情報 の順にクリックまたはタップします。
- Windows 8.1 および Windows 8 の場合は、スタート  → PC 設定 → PC とデバイス → PC 情報 の順にクリックまたはタップします。
- Windows 7 の場合は、スタート  をクリックして **マイコンピュータ** を右クリックし、**プロパティ** を選択します。

## システム仕様

機能	仕様
プロセッサキャッシュ	Intel コア i3/i5/i7 シリーズ
キャッシュ合計	プロセッサのタイプに応じて最大 8 MB キャッシュ
チップセット	Intel Q170 チップセット

## メモリの仕様


機能	仕様
メモリのタイプ	最大 1600 MHz、バッファリング無し non-ECC、デュアルチャネル DDR4 2133 構成
メモリ容量	4 GB および 8 GB
メモリのコネクタ	内部アクセス可能 DDR4 SODIMM ソケット (2)
最小メモリ	4 GB
最大メモリ	16 GB

## ビデオの仕様

機能	仕様
ビデオコントローラ (内蔵)	内蔵 Intel HD グラフィックス (Gen 9 iGfx)、dGPU 用の 2GB GDDR5
ビデオメモリ	共有メモリ
外部ディスプレイサポート	ディスプレイポート、HDMI 入力、HDMI 出力

## オーディオの仕様

機能	仕様
コントローラ	Waves MaxxVoice Pro 搭載 Intel ハイデフィニションオーディオ
スピーカー	左右両スピーカーアセンブリの単一 4Ω スピーカー (チャンネル当たり平均 4 W)
内蔵スピーカーアンプ	1 チャンネルあたり 4Ω で最大 7.6 W
内蔵マイク対応	デジタルマイク
ボリュームコントロール	ボリュームアップ/ダウンボタン、プログラムメニュー、およびキーボードメディアコントロールキー

 **警告:** イヤホンまたはヘッドフォンからの過度の音圧は、聴力の損傷または損失の原因になる場合があります。ボリュームコントロールおよびイコライザの設定を中間位置以外に調節すると、イヤホンまたはヘッドフォンの出力電圧のみならず、音圧レベルも上がる可能性があります。イヤホンまたはヘッドフォンの出力を左右する要因として、製造元 (例えばオペレーティングシステム、イコライザソフトウェア、ファームウェア、ドライバなど) が指定したものの意外を使用すると、イヤホンまたはヘッドフォンの出力電圧のみならず、音圧レベルも上がる可能性があります。製造元が指定した以外のイヤホンまたはヘッドフォンを使用すると、音圧レベルが上がる可能性があります。

## 通信の仕様

機能	仕様
ネットワークアダプタ	Intel 10/100/1000 Mbps RJ-45 Ethernet
Wireless (ワイヤレス)	<ul style="list-style-type: none"><li>M.2 2230 カード</li><li>コンボ M.2 カード (Intel Wireless 8260 M.2 PCIe WLAN カード (802.11n/ac) Bluetooth 搭載)</li></ul>

## カードの仕様

機能	仕様
M.2 スロット	<ul style="list-style-type: none"><li>• 2230 D3 Key-A M.2 ソケット 1 (1)</li><li>• 2280 D3 Key-M M.2 ソケット 3 (1)</li></ul>

## ディスプレイの仕様

機能	仕様
タイプ	23.8 インチ、FHD および UHD (4K)
最大解像度	3840 x 2160
リフレッシュレートの	60 Hz
輝度	輝度上 / 下ボタン
動作角度	178° 水平 / 178° 垂直
ピクセルピッチ	0.2475 mm
制御	オンスクリーンコントロール

## ドライブの仕様

機能	仕様
ハードドライブ	アダプタブラケット搭載 2.5 インチ SATA ドライブおよび 2.5 インチ SATA ドライブ (オプション)
オプティカルドライブ (オプション)	DVD-ROM SATA ドライブまたは DVD+/-RW SATA ドライブ

## ポートおよびコネクタの仕様

機能	仕様
オーディオ	<ul style="list-style-type: none"><li>• 背面のライン出力コネクタ (1)</li><li>• 側面のグローバルヘッドセットポート (1)</li></ul>
ネットワークアダプタ	RJ-45 コネクタ (1)
USB 2.0 (前面 / 背面)	0 (側面) / 2

機能	仕様
USB 3.0 (前面 / 背面)	2 (側面) / 4
PowerShare の機能付き USB ポートをサポート	1 (側面) USB 3.0
ビデオ	ディスプレイポート (1)
HDMI	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 19 ピン出力ポート (1)</li> <li>• 19 ピン入力ポート (1)</li> </ul>
メディアカードリーダー	4-in-1 スロット (1)

## 電源仕様

機能	仕様
UMA の 155 W PSU	
200 W dGPU および UHD (4K)	
周波数	47 ~ 63 Hz
電圧	90 ~ 264 VAC
入力電流	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 最大 2.6 A (AC 低範囲)</li> <li>• 最大 1.3 A (AC 高範囲)</li> </ul>

## カメラ (オプション) の仕様


機能	仕様
画像解像度	2.0 メガピクセル
ビデオ解像度	FHD (1080 p)
斜め可視角度	74 度

## スタンドの仕様

機能	仕様
傾き	-5 ~ 30 度

## 物理的仕様


機能	仕様
幅	575.24 mm (22.65 インチ)
高さ	392.90 mm (15.47 インチ)
奥行き :	
非タッチ	62.79 mm (2.47 インチ)
タッチ	62.79 mm (2.47 インチ)
重量 :	
非タッチ	9.76 kg (スタンド込み) (21.52 ポンド)
タッチ	11.00 kg (スタンド込み) (24.25 ポンド)

 **メモ:** コンピュータの重量は、発注時の構成や製造上の条件により異なる場合があります。

## 環境仕様

温度	仕様
動作時	0 ~ 35°C (50 ~ 95°F)
保管時	-40 ~ 65 °C (-40 ~ 149 °F)
相対湿度 (最大)	仕様
動作時	20 ~ 80% (結露しないこと)
保管時	20 ~ 80% (結露しないこと)
最大振動	仕様
動作時	5 ~ 350 Hz で 0.26 GRMS
保管時	5 ~ 500 Hz で 2.2 GRMS
最大衝撃	仕様
動作時	40 G
保管時	45 G
高度 (最大) :	仕様
動作時	0 ~ 5,000 m (0 ~ 16,404 フィート)
非動作時	0 ~ 5,000 m (0 ~ 16,404 フィート)
空気中浮遊汚染物質レベル	G2、または ANSI/ISA-S71.04-1985 が定める規定値以内

## デルへのお問い合わせ

 **メモ:** お使いのコンピュータがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデルの製品カタログで連絡先をご確認ください。

デルでは、オンラインまたは電話によるサポートとサービスのオプションを複数提供しています。サポートやサービスの提供状況は国や製品ごとに異なり、国 / 地域によってはご利用いただけないサービスもございます。デルのセールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

1. **Dell.com/support** にアクセスします。
2. サポートカテゴリを選択します。
3. ページの下部にある **国 / 地域** の選択 ドロップダウンリストで、お住まいの国または地域を確認します。
4. 必要なサービスまたはサポートのリンクを選択します。